Panasonic®

BL-C1

BL-C20

取扱説明書

ホームネットワークカメラ　屋内設置タイプ

品番　**BL-C1**　（有線タイプ）

BL-C20（無線/有線共用タイプ）

このたびは、ホームネットワークカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（「ご使用の前に／困ったときには」4～8ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに

本書は、BL-C1（有線タイプ）／BL-C20（無線／有線共用タイプ）の2機種共用です。機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。（品番は、本体の前面左上に表示しています。）

特　　長

おしらせランプ搭載

センサー検知（人感センサーや動作検知）すると、カメラレンズの周りのリング部が点滅したり、外部からアクセスがあった場合に点灯しランプが光ってお知らせをします。また、無線ルーターなどとの設定時にランプの点灯や点滅などで無線電波受信状況を確認することができます（**BL-C20のみ**）。

ダブルセンサー（人感センサー&動作検知）

温度変化により人などを検知する「人感センサー」※1と、温度変化にかかわらず映像の動きを検知する「動作検知」※2の2つの機能で、より確実に検知ができます。

10倍デジタルズーム※3

撮影してある画像の中央部分を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を搭載しているため、カメラから遠い被写体の様子が確認しやすくなります。また、デジタルズームの倍率操作は、ホイールマウスのホイール部や右クリックで簡単に行うことができ便利です。

おしらセンサー

1日1回まとめて、センサー検知の記録をメールで通知させることにより、旅行中などでも留守宅に変化がないかを確認することができます。

無線通信に対応（BL-C20のみ）

無線LAN規格であるIEEE802.11bとIEEE802.11gに基づいた無線端末機能を内蔵しているため、無線通信／有線通信のどちらにも対応しています。無線通信の実現で、これまで配線が困難だった場所にも、カメラを設置することができます。セキュリティは暗号化(WEP)などにより向上させることができます。

※1 人や動物など温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。使用温度環境および日光、冷・暖房器具による影響で誤検知や検知範囲が狭くなることがあります。
※2 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、検知レベルが異なります。
※3 10倍デジタルズーム機能は、倍率が高くなるにつれ、パソコンでのモニタリングの際の画質は低下します。携帯電話からは利用できません。

はじめに

カラーナイトビューモード搭載

4ルクス※4の明るさで撮影が可能なカラーナイトビューモードを搭載しています。このため、例えば、薄暗い部屋の様子を見たり、お子様の寝顔を確認したりするのに役立ちます。

パソコン、携帯電話、「Tナビ」※5対応テレビ／チューナーでモニタリング可能

（☞ 8、21、24ページ）
インターネットなどのネットワーク経由で、カメラ画像のモニタリングが可能になります。

カメラかんたん設定

（☞ かんたんガイド）

付属のセットアップCD-ROMを使用すれば、簡単にカメラをセットアップすることができます。またカメラはUPnP™にも対応しており、UPnP™に対応したルーターのポートフォワーディング設定は自動で実施します。

※ ポートフォワーディング設定を自動的に行えないUPnP™非対応ルーターもあります。その場合、ルーターの設定を手動で行う必要があります。ルーターの設定方法については各ルーターメーカーにお問い合わせください。接続確認済みの機種については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/）を参照してください。

※4 蛍光灯の補助灯下で1 m離れた程度の明るさ。被写体が暗くなると自動的にカラーナイトビューモードになります。カラーナイトビューモード時は、画像更新速度（フレームレート）、画質が低下します。また、動いている人や動物などは、ぶれて映りにくくなります。

※5 ブロードバンド回線を使ったデジタルテレビ向けの生活情報ネットワーク・サービスです。

はじめに

本書に使用しているイラスト・画面・マークについて

- **本書では、BL-C20のイラストと画面を使って説明しています。**
- ☞ ……… 参照していただきたいページを記載しています。
- おねがい ……. 操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
- おしらせ ……. 便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

【商標および登録商標】

- Adobe、AcrobatおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft、Windows、HotmailおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

【表記について】

- UPnPは、Universal Plug and Playの略称です。
- 本書では、「ホームネットワークカメラ」を「カメラ」と表記しています。
- 本書では、「セットアップCD-ROM」を「CD-ROM」と表記しています。

もくじ

名前や機能の名称からページを探すときは、
「さくいん」が便利です（☞153～154ページ）

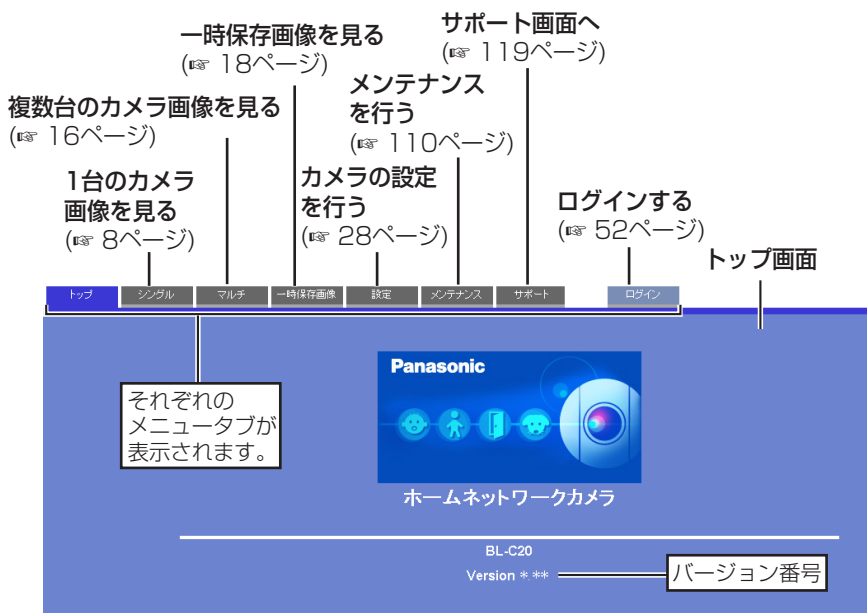
もくじ

カメラにアクセスする

1 パソコンで、ウェブブラウザを起動する

2 <u>**http://カメラのIPアドレス（またはURL）: ポート番号**</u>をアドレスバーに入力し、 Enter を押す
例：http://192.168.0.253:50000
(または＊＊＊＊＊.miemasu.net:50000)
（ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。ポート番号については、33ページ、または「ご使用の前に／困ったときには」の21ページを参照してください。）

3 ネットワークパスワードの入力画面でユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックする

- 管理者の設定画面(☞ 49ページ)で「未登録ユーザーを許可(ユーザー名・パスワードなしで公開)」にしている場合は、認証画面（ネットワークパスワード入力画面）は表示されません。

管理者以外の人がカメラにアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。また、管理者の設定画面で「未登録ユーザーを禁止」、または、「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしているときは、「ログイン」タブは表示されません。

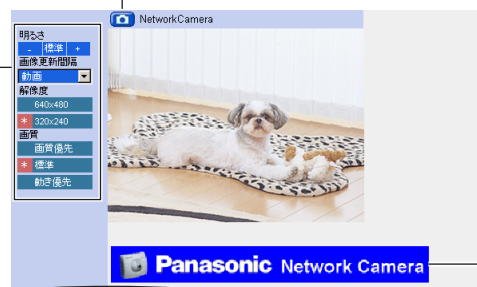
1台のカメラ画像を見る

1 カメラにアクセスする（☞ 7ページ）

● トップ画面が表示されます。

2 画面上の「シングル」タブをクリックする

● セキュリティ警告画面が表示されたときは、10ページを参照してください。

● Microsoft® Windows® XP Service Pack 2をご使用の場合のセキュリティ警告画面については、11ページを参照してください。

● カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※ 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、または自己に関する情報をコントロールする権利。また肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

3 終了するときは、ウェブブラウザを終了する

つづく

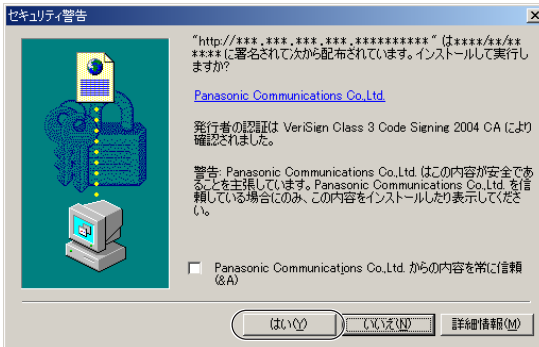
1台のカメラ画像を見る

電源周波数によっては、蛍光灯などの照明の影響により、画面にノイズが入ることがあります。地域で決められた電源周波数を設定してください。(☞ 47ページ)

- 画像がすぐに表示されない、または正常に表示されないときは、ウェブブラウザのツールバーにある「更新」ボタンをクリックしてください。画像が更新されます。
- 動画で表示しているときのみ、デジタルズームを操作できます。
- 画像更新間隔の初期設定は、「動画」になっています。操作バー（☞ 15ページ）で設定を変更できます。
- 画像更新間隔（☞ 15ページ）は、ネットワーク環境、パソコンの能力、被写体、アクセス数により変わります。
- 1台のカメラに動画を表示させたとき、そのカメラへの最大同時アクセス数は20です。20を超えてアクセスすると、21番目にアクセスしたユーザーに対しては、青の画像が表示されます。(一時保存画像の連続再生をしているときもアクセス数に含まれます。)
- ネットワーク上のデータ量を減らすために、画像表示設定で動画表示時間を設定し、動画表示を自動的に静止画表示に切り替えられます。(☞ 98ページ)
- 直接シングル画面を表示したいときは、シングル画面を表示させた状態でウェブブラウザのお気に入りに追加してください。
- 暗い場所を表示する場合は、カラーナイトビューモード（☞ 47ページ）を「許可」（工場出荷値）にしていると画像は明るくなりますが、暗い場所での画像更新速度（フレームレート）は遅くなり、画質も低下します。また、動きのある被写体を映すと、被写体がぶれて被写体の判別ができなかったり、映らないことがあります。
- 暗い被写体を映しているときに、画面全体が白っぽくなったり、横筋状の線が生じる場合があります。これはCMOSセンサー（撮像素子）の特性なので、故障ではありません。
- ActiveX（☞ 10ページ）がインストールできない場合は、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/) からダウンロードしてください。
- **（BL-C20のみ）**無線接続では、環境によって、接続が切れ、動画が停止する場合があります。接続が切れたときは、ウェブブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

1台のカメラ画像を見る

■ セキュリティ警告画面が表示されたときは

動画を表示するためにActiveX®コントロールをインストールする必要があります。初めて動画を表示させようとすると、次の画面が表示されます。 はい(Y) をクリックしてインストールしてください。

ウェブブラウザのセキュリティ設定によっては、次の画面を表示することがあります。

そのときは、次の手順に従いInternet Explorerのセキュリティレベル設定を変更してアクセスし直してください。

① Internet Explorerの「ツール(T)」→「インターネットオプション(O)」→「セキュリティ」をクリックする

② 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」内の レベルのカスタマイズ(C)... をクリックする

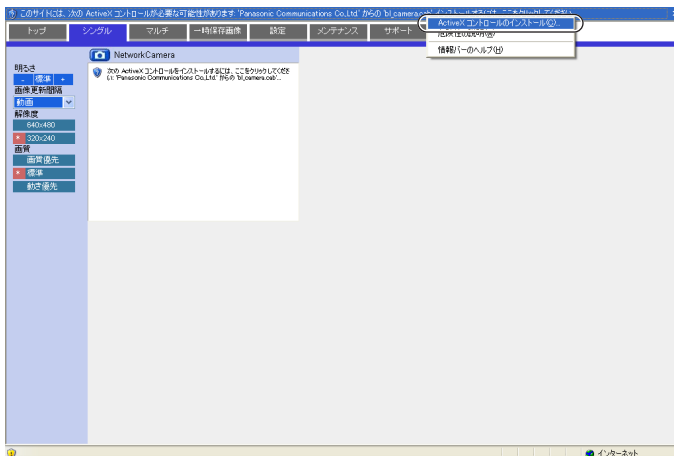
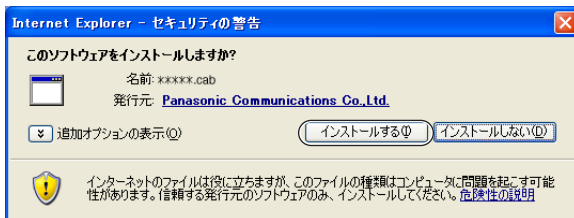
③ 「設定(S)」内の "ActiveXコントロールとプラグインの実行" を "有効にする" に変更する、また、"署名済み ActiveXコントロールのダウンロード" を "ダイアログを表示する" に変更する

- カメラのIPアドレスを変更した場合は、新しいIPアドレスをウェブブラウザへ入力してください。
- ネットワーク環境によっては画像がすぐには現れない場合があります。少しお待ちください。
- カメラにプロキシサーバーを経由してアクセスしている場合は、プロキシサーバーを経由しないようにパソコンを設定してください。(☞ 134ページ)
- Windows XPまたはWindows 2000を使用していて、ActiveXコントロールをインストールするときは、アドミニストレーター権限が必要です。パソコンの設定をアドミニストレーター権限に変更したあと、ActiveXコントロールをインストールしてください。

1台のカメラ画像を見る

■ Microsoft Windows XP Service Pack 2におけるセキュリティ警告画面が表示されたときは

動画を表示するには、ActiveX コントロールをインストールする必要があります。
次の手順に従ってActiveX コントロールをインストールしてください。

1 タブ上の警告部分をクリックし、
ActiveX コントロールのインストール をクリックする

2 セキュリティの警告画面上の インストールする をクリックする

1台のカメラ画像を見る

バナー表示について

バナーとして表示させたい画像やリンク先のURLが指定できます。バナーを表示させるには、画像表示設定画面でバナー表示設定をする必要があります。(☞ 98ページ)
また、表示されたバナーをクリックすると設定したリンク先のURLが表示されます。
バナー表示設定の工場出荷値は無効です。

マウスでクリックした位置を画面の中央に移動させる（クリック&センタリング機能）

デジタルズーム中（☞ 13ページ）に、画像上の見たいところにカーソルを移動し、クリックするだけで画面の中央に移動させることができます。

1 見たいところにカーソルを移動する

カーソル

2 クリックする

- カーソル位置が画面の中央になるように画像表示位置が移動します。

- 位置によっては、クリックした位置が画面の中心から多少ずれる場合があります。
- 等倍（x1）で表示している画面範囲内でのみ移動できます。

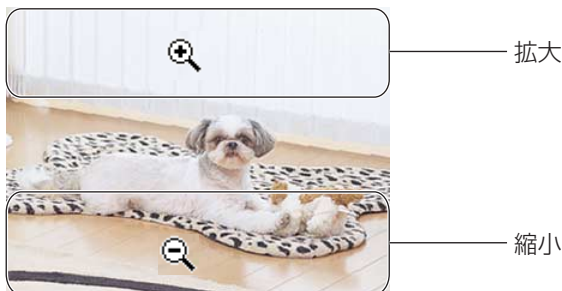
1台のカメラ画像を見る

デジタルズームを使う

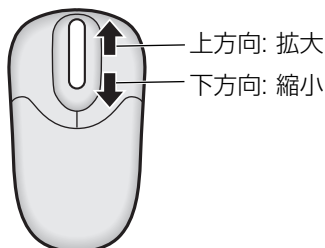
本製品は、ActiveXによりカメラの画像を10倍まで拡大表示できるデジタルズーム機能を搭載しています。このため、カメラから離れた被写体の様子が確認しやすくなります。デジタルズームは、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面で行えます (動画中のみ)。デジタルズームの倍率操作は、ホイールマウスのホイール部、またはマウスの右ボタンで、簡単に行えます。

- デジタルズーム中は、クリック＆センタリング機能を使えます。（等倍 [x1] で表示している画面範囲内でのみ移動できます。）
- 倍率が高くなるにつれ、画質は低下します。
- 携帯電話からは利用できません。
- カメラ画像を一時保存または転送する場合、デジタルズーム使用前（等倍 [x1]）のカメラ画像を一時保存／転送します。

● マウスの右ボタンによるズーム操作の場合

画像上でマウスの右ボタンを押したままマウスを上下方向に動かすことで、画像（の中央部）が拡大・縮小表示されます。

● マウスのホイール回転によるズーム操作の場合

画像上で上方向へスクロールすると被写体が拡大し、下方向へスクロールすると被写体が縮小します。

マウスのホイール回転によるズーム操作の場合、ホイール操作の大きさにしたがって動作します。ホイール操作の大きさは、お使いのOSで設定してください。

1台のカメラ画像を見る

カメラの静止画を撮る（スナップショット）

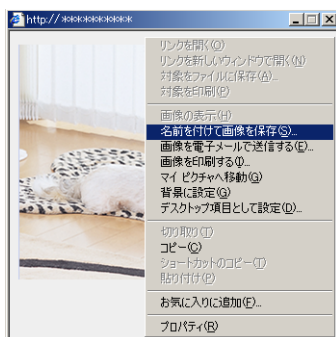
静止画を撮って、パソコンに保存できます。

パソコンに保存した画像には個人情報が含まれています。取り扱いには十分ご注意ください。

1 操作バーで解像度を選び、カメラ画像を表示する

2 スナップショットボタンをクリックする

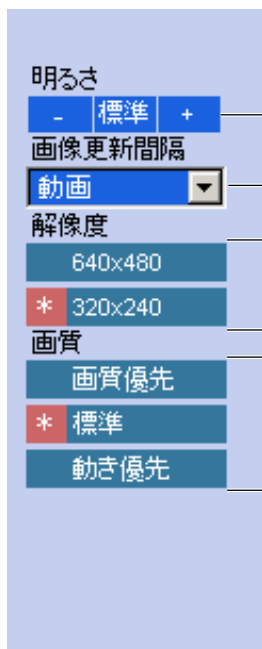
スナップショットボタン

3 別ウィンドウで開いたカメラ画像の上で右クリックし、「名前を付けて画像を保存」を選ぶ

4 画像の保存ダイアログボックスが表示されるので、保存する場所を指定し、ファイル名を入力して 保存 をクリックする

- 指定した場所にカメラ画像が保存されます。

5 閉じる をクリックしてウィンドウを閉じる

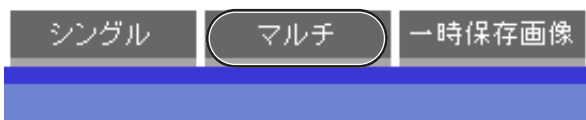
1台のカメラ画像を見る

操作バーについて

複数台のカメラ画像を見る

マルチ画面で複数台のカメラ画像を見るには、設定画面でマルチ画面の設定をする必要があります。(☞ 101ページ)

1 カメラにアクセスする（☞ 7ページ）

● トップ画面が表示されます。

2 画面上の「マルチ」タブをクリックする

● マルチ画面では最大12台のカメラ画像を表示できます。

No.1に自カメラが登録されています。（工場出荷値）

つづく

複数台のカメラ画像を見る

3 終了するときは、ウェブブラウザを終了する

- 動画で表示しているときのみ、デジタルズームとクリック&センタリングを操作できます。
- 「表示するカメラ」で「すべて」を選ぶと、カメラ画像はすべて160×120ドットの解像度で表示されます。
- マルチ画面では、640×480ドットの解像度は表示できません。
- マルチ画面で動画を見るときは、画像更新速度（フレームレート）の低下を防ぐため、イーサネットハブには、イーサネットスイッチングハブの使用をおすすめします。
- ネットワーク環境やアクセス数によっては、画像更新速度（フレームレート）が低下する場合があります。
- 画像の更新が遅いときは、各カメラの「ネットワークの設定」の「通信帯域制限」でデータ量を低くすると改善される場合があります。
- ネットワーク上のデータ量を減らすために、画像表示設定で動画表示時間を設定し、動画表示を自動的に静止画表示に切り替えられます。（☞ 98ページ）
- マルチ画面で4台のカメラを見ている場合、3〜4 Mbpsの通信速度が必要になる場合があります。通信速度が不足していると、画像更新速度（フレームレート）が低下します。

■ マルチ画面で画像が表示されないとき

- 各カメラにIPアドレスが設定されていて、正常に接続されているか確かめてください。（☞ 「ご使用の前に／困ったときには」の29ページ）
- 設定画面でマルチ画面の設定内容を確かめてください。（☞ 101ページ）
- パソコンの設定において、各カメラの接続がプロキシサーバー経由になっていないことを確かめてください。（☞ 134ページ）

■ 「管理者の設定」で「未登録ユーザーを禁止」や「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」に設定しているとき

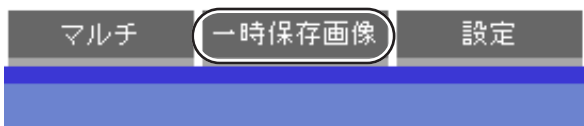
- カメラにアクセスしたときに、認証画面が表示されます。管理者の設定または一般ユーザーの設定で設定したユーザー名、パスワードを入力してください。
- マルチ画面を見るときは、マルチ画面に登録したカメラの台数分、認証画面が表示されます。各カメラにおいて、管理者の設定または一般ユーザーの設定で設定したユーザー名、パスワードを入力してください。

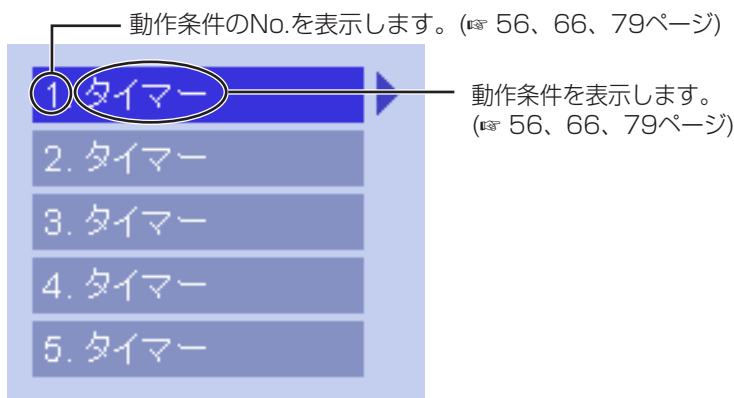
一時保存画像を見る

カメラの内部メモリーにカメラ画像を一時保存するには、一時保存／転送の設定をする必要があります。（☞ 56、66、79ページ）一時保存した画像は、一時保存画像画面で見られます。

1 カメラにアクセスする（☞ 7ページ）

- トップ画面が表示されます。

2 画面上の「一時保存画像」タブをクリックする

3 一時保存した方法を選び、そのボタンをクリックする

つづく

一時保存画像を見る

4 一時保存画像画面下にあるボタンを使用して画像を操作する

連続再生
保存した画像を連続して表示する。

<前頁 または **次頁>**
表示している画像の前画面または次画面を表示する。

<100、**<10** または **10>**、**100>**
表示している画像の10、100画面前または10、100画面後の画面を表示する。

- 再生画面の画像は古いものから表示されます。
- 保存したい画像上でマウスの右ボタンをクリックし、「名前を付けて画像を保存」を選ぶと静止画を保存できます。ただし、連続再生中は保存できません。
- 解像度、画質、被写体により保存できる枚数は変わります。320×240ドットの解像度、画質を標準にした場合で、内部メモリーに約250枚保存できます。(「動作条件」設定で、センサー、タイマー、または動作検知を「有効」に設定しているときは、その設定数[最大5つ]分にメモリーが分割されます。3つ設定しているときは、内部メモリーにそれぞれ約80枚保存できます。)ファイルサイズと一時保存枚数については147ページを参照してください。
- 連続再生中はデジタルズームを操作できます。
- デジタルズーム中はクリック&センタリング機能を使えます。

一時保存画像を見る

一時保存画像を消去する

それぞれの動作条件件設定ごとに一時保存画像を消去したいときは、それぞれの動作条件設定画面の **一時保存されている画像を消去する。** をクリックしてください。
(☞ 56、66、79ページ)

内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、内部メモリー内の一時保存画像はすべて消去されます。

- 電源を切る。
- 「時計」の設定内容を保存する。
- **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。
- 動作条件の「有効／無効」の設定を変更する。(☞ 56、66、79ページ)

携帯電話でカメラ画像を見る

携帯電話からインターネットを使って、カメラ画像（静止画）を見ることができます。

http://カメラのIPアドレス（またはURL）: ポート番号 /mobile を携帯電話のアドレスバーに入力し、接続する

例：http://***.***.***.***/mobile（または*****.miemasu.net/mobile）

（ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。）

- 認証画面が表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- 画像が表示されます。（ただし、動画は表示できません。）

「5」のダイヤルキーを押すと、画像を最新のものに更新します。

「0」のダイヤルキーを押すと、160x120 ドットと320x240 ドットへ解像度を切り替えられます。最初に160x120 ドットの画像が表示されます。「0」を押すと320x240 ドットに切り替わります。

センサーログ情報を新着順に 50 件表示します。（管理者のみ）

携帯電話から、カメラ画像の一時保存／転送を有効、または無効にできます。（管理者のみ）
（☞ 23 ページ）

つづく

携帯電話でカメラ画像を見る

- 携帯電話の機種によっては、画面に表示されるダイヤルキー（①、②など）が、かっこ数字（(1)、(2)など）または数字のみで表示されることがあります。
- 携帯電話の機種によっては、接続できなかったり、画像が表示されなかったりすることがあります。また、管理者設定画面で「未登録ユーザーを禁止」にしているときは、認証機能のある携帯電話でしか接続できません。
  確認済み機種の情報は、下記のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
- 携帯電話の機種によっては、ポート番号が80しか使用できない場合があります。詳しくは、下記のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
- 管理者設定画面で「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」、「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、認証なしで携帯電話用画面を見られます。
  (☞ 49ページ)
- 管理者設定画面で「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」または「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしていた場合、「センサーログ」、「一時保存転送設定」を選択すると、認証画面が表示されます。管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

パナソニックのサポートウェブサイト
http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/

携帯電話で一時保存／転送を有効または無効にする

1 携帯電話からカメラ画像にアクセスして、管理者でログインする（☞21ページ）

2 「一時保存転送設定」を選ぶ（☞21ページ）

3 設定を有効、または無効にしたい動作条件のNo.を選ぶ

(例) No.1の一時保存転送を有効にする

一時保存転送設定

No.状態 条件

(1) 無効 タイマー
(2) 無効 タイマー
(3) 無効 タイマー
(4) 無効 タイマー
(5) 無効 タイマー

操作画面

- 「操作画面」を選択すると、元の画面に戻ります。

4 「保存」を選ぶ

一時保存転送設定

(1)番の設定を有効に変更します。
[保存]を選択すると、保存されている画像はすべて消去されます。

保存 キャンセル

No.(1)
状態 無効→有効
条件 タイマー
日月火水木金土
動作時間 常時
一時保存 上書きなし
通知 －
無検知 －

- 「保存」を選択すると、一時保存転送設定が「有効」または「無効」に設定され、一時保存されている画像はすべて消去されます。
- 「キャンセル」を選択すると、設定は保存されずに一時保存転送設定画面に戻ります。

「Tナビ」対応テレビ／チューナーでカメラ画像を見る

松下電器産業 (株) 製の「Tナビ」対応テレビ／チューナーのウェブブラウザ機能を使って、カメラ画像を見られます。

対応している製品情報に関する詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/) を参照してください。

1 リモコンの Tnavi を押す

2 リモコンの ネット操作 を押す

3 選択／決定ボタンの ▶ を押して表示されるメニューから「アドレス」を選び、決定 を押す

4 **http://**に続けてカメラのIPアドレス (URL)：ポート番号を入力し、「確定」を選び、決定 を押す

例：http://192.168.0.253:50000 (ポート番号が50000の場合)
〔インターネットを利用してカメラに接続する場合は
http://*****.miemasu.net:50000 (ポート番号が50000の場合)〕
ポート番号が80（工場出荷値）に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。

5 認証画面が表示された場合は、カメラのユーザー名とパスワードを入力し、選択／決定ボタンの ▼ を押して「はい」を選択し、決定 を押す

- 初期画面が表示されます。

カメラのIPアドレス (URL) は、次回の接続のために「お好みページ」への登録をおすすめします。登録のしかたは、「Tナビ」対応テレビ／チューナーの取扱説明書を参照してください。

「Tナビ」対応テレビ／チューナーでカメラ画像を見る

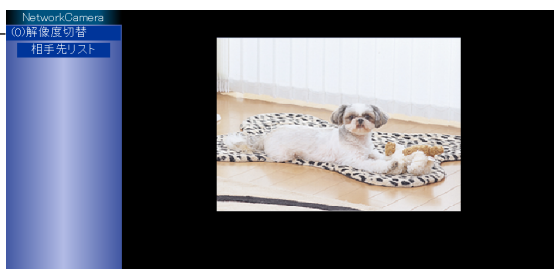
カメラの操作方法と簡易ビジュアルコミュニケーション

カメラの操作方法には、「Tナビ」対応テレビ／チューナーのリモコンの選択／決定ボタンの十字キーと［決定］で操作する方法と、リモコンの数字ボタンを使って操作する方法があります。パソコンのウェブブラウザ機能を使って登録した接続先と、「Tナビ」対応テレビ／チューナーを用いたビジュアル双方向通信を行えます。パソコンのウェブブラウザ機能を使って接続先を相手先リストに登録する方法については108ページを参照してください。

■ 十字キーによる操作

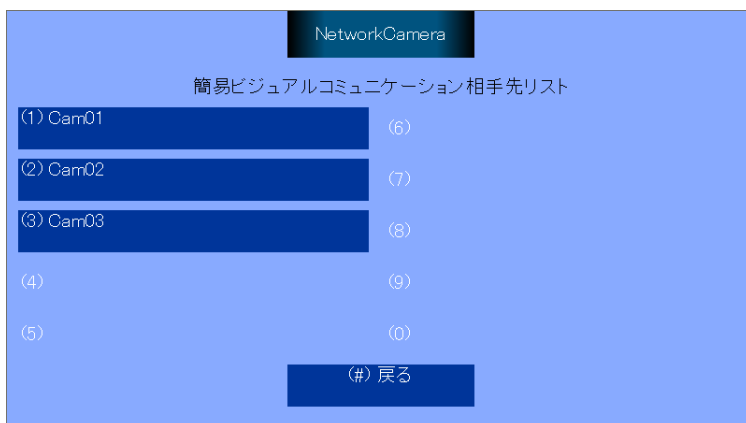
リモコンの選択／決定ボタンの十字キーでカメラの動作を選び、［決定］を押す。

■ リモコンの数字ボタンによる操作

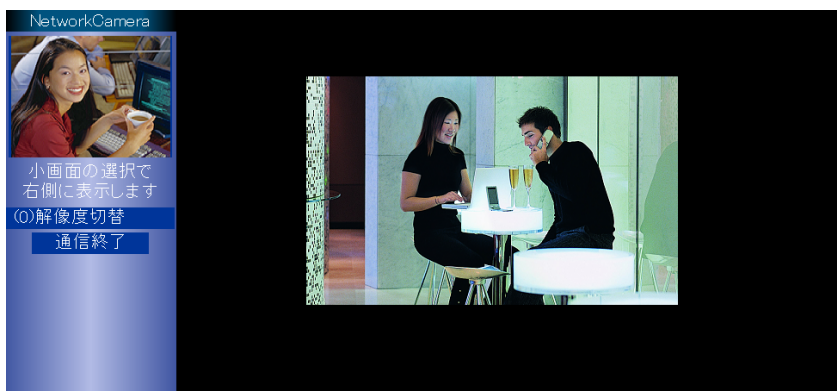
［0］を押すたびに、解像度が600x450ドットと320x240ドットとで切り替わります。画像の更新間隔は、600x450ドットのときで最大約1枚/秒、320x240ドットのときで最大約2枚/秒です。

■ 簡易ビジュアルコミュニケーションを使う

1 初期画面を表示する（☞ 24ページ）

2 選択／決定ボタンの ▼ を押して 相手先リスト を選択し、決定 を押す

- 簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リストが表示されます。
- 相手先リストへの登録には、パソコンのウェブブラウザを使ってください。(☞ 108ページ)

- 選択／決定ボタンの ▼ を押して (#) 戻る を選択すると、初期画面に戻ります。
- 数字ボタンの # を押すと、初期画面に戻ります。

3 選択／決定ボタンの十字キーで通信する接続先を選択し、決定 を押す

- 認証画面が表示された場合は、接続先カメラのユーザー名とパスワードを入力し、選択／決定ボタンの ▼ を押して「はい」を選択し、決定 を押してください。
- 中央の大画面には、接続先からの映像が表示され、左上隅の小画面には、ご自身でお使いのカメラからの映像が表示されます。
- 数字ボタンの 1、2、・・・9、0 で通信する接続先を選ぶこともできます。

- 小画面を選択して 決定 を押すと、小画面と大画面の映像を切り替えて表示できます。
- 「通信終了」を選択して 決定 を押すと、小画面が消え、初期画面に戻ります。
- **簡易ビジュアルコミュニケーション機能を利用中でも、通信中の画面を第三者が参照できるため、ご注意ください。**
- 接続先カメラが簡易ビジュアルコミュニケーション対応でない場合、接続先カメラの初期画面が表示されます。

簡易ビジュアルコミュニケーション機能では、画像のみのコミュニケーションとなります。音声でのコミュニケーションには電話などをご使用ください。

カメラの設定画面

1 カメラにアクセスする（☞ 7ページ）

- 管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしている場合は、ログインボタン（☞ 52ページ）をクリックして、管理者のユーザー名とパスワードでログインしてください。
- **管理者以外の人がカメラにアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。**

- トップ画面が表示されます。

2 画面上の「設定」タブをクリックする

☆ BL-C20 のみの機能です。

つづく

カメラの設定画面

[基本設定]	
(1) ネットワーク	接続モードなど、ネットワークにつなげるための設定
(2) 無線（BL-C20のみ）	カメラを無線ネットワークで使用するための設定
(3) UPnP	自動ポートフォワーディング、カメラへのショートカットの設定（BL-C1のみ）
(4) ダイナミックDNS	ダイナミックDNSサービスの設定
(5) 時計	年、月、日、時刻、NTPサーバーによる時計の自動調整機能の設定
(6) カメラ	カメラ名、ホワイトバランス、電源周波数、カラーナイトビューモードの設定
[ユーザー設定]	
(7) 管理者※	認証設定、管理者のセキュリティ（ユーザー名、パスワード）設定
(8) 一般ユーザー※	一般ユーザーのセキュリティ（ユーザー名、パスワード）設定、一般ユーザーごとの機能許可設定
[一時保存／転送]	
(9) 動作条件	画像を内部メモリーに一時保存、または、転送する条件の設定
(10) 動作検知感度	動作検知の感度の設定
(11) センサーログ通知	Eメールによる一日一回のセンサーログの通知設定
[その他の設定]	
(12) 画像表示	シングル・マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔、動画表示時間制限※、バナー表示の設定
(13) マルチ画面※	マルチ画面に表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名、表示名の設定（12台まで）
(14) 公開時間	カメラ画像の公開時間設定
(15) インジケーター	インジケーターの点灯／消灯の設定、おしらせランプの点灯／点滅／消灯の設定
(16) 相手先リスト	簡易ビジュアルコミュニケーションで接続するカメラを追加・設定（10台まで）

※「管理者」や「一般ユーザー」、「動画表示時間制限」、「マルチ画面」の設定は、設定時に動画を見ている人に設定内容が反映されません。設定後に再起動を行うことで反映できます。

ネットワークにつなぐ

カメラをネットワークにつなぐためのネットワーク設定を行います。

- **自動設定**　：自動的に空いているIPアドレスを割り振り、UPnP™を使用してルーターを設定します。
- **Static設定**：指定のIPアドレスを設定します。
- **DHCP設定**：ルーターやプロバイダーなどのDHCPサーバー機能を使用します。

1 設定画面で ネットワーク をクリックする

2 接続モードを選び、クリックする

- それぞれの設定画面が表示されます。設定画面の項目は32〜34ページを参照してください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

＜自動設定の場合＞

ルーターなどのDHCPサーバー機能からネットワーク情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス）を自動的に取得します。IPアドレスはほかのネットワーク機器で使用されていないものを自動的に検索し、決定します。またインターネット公開を「公開」に設定している場合は、UPnP™機能により、ポートフォワーディング設定を自動で行います。このとき、ポート番号についてもほかのネットワーク機器で使用されていない番号を80、50000〜50050の順番で検索し、決定します。

つづく

● 戻る をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

＜DHCP設定の場合＞

＜Static設定の場合＞

● 戻る をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

つづく

4 設定が終わったら 保存 をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると以下の画面が表示されます。

保存が完了しました。

設定は保存されました。再起動してください。

注：(1)再起動すると一時保存されている画像はすべて消去されます。
(2)自動設定またはDHCP設定の場合、セットアップソフトを使用してカメラを検索してください。

再起動

現在のネットワークの設定内容は、メンテナンスのステータス画面で参照できます。(☞ 110ページ)

5 再起動 をクリックする

- カメラが再起動し、トップ画面が表示されます。
- 「自動設定」で「インターネット公開」を「公開」にした場合、使用するポート番号が変わる場合があるためトップ画面が再表示されません。セットアップソフトウェアを使用してカメラに接続してください。

「自動設定」、「DHCP設定」にしていてカメラのIPアドレスがわからなくなったときは、セットアップソフトウェアを使ってIPアドレスを調べられます。(☞ 128ページ)

データ入力欄

設定項目	設定内容
インターネット公開 (自動設定のみ)	● ルーターなどのポートフォワーディング設定（ルーターによっては、アドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと呼んでいます。）を自動的に行います。インターネット経由で家の外からアクセスできるようにするには、「公開」にします。アクセスできないようにするには、「非公開」にします。このとき、ポート番号はほかのネットワーク機器で使用されていない番号を80、50000～50050の順番で検索し、決定します。
セットアップソフトウェアからの設定 (Static／DHCP設定のみ)	● セキュリティ管理のため、セットアップソフトウェアから設定内容を変更できないようにするには、「有効」のチェックをはずしてください。

つづく

ネットワークにつなぐ

設定項目	設定内容
ポート番号 （Static／DHCP設定のみ）	● ポート番号を設定できます。（工場出荷値は、80です。） インターネット接続のときにルーターを使用して、2台以上のカメラを使用している場合、各カメラに独自のポート番号を設定する必要があります。 （☞「ご使用の前に/困ったときには」の21ページ「UPnP™非対応のルーターに接続するには」） その際、以下のポート番号は設定しないでください。 • 同じネットワークに接続されているネットワーク機器で使用しているポート番号 • 20、21、25、110（カメラで、すでに使用されています。） ● 設定は1～65535の範囲です。 ● プロバイダーによっては、80のポート番号を使用できない場合があります。その際は、インターネット経由でアクセスできるポート番号（工場出荷値は80）をネットワーク管理者またはプロバイダーから入手してください。
● IPアドレス ● サブネットマスク （Static設定のみ）	● ネットワーク管理者またはプロバイダーからIPアドレスを指定されているときは、指定されたIPアドレスとサブネットマスクをデータ入力欄に入力してください。 ● LAN内でカメラを使用している場合は、パソコンと同じクラス（☞ 144ページ）で設定してください。 ● 192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。）
ホスト名 （DHCP設定のみ）	● プロバイダーのDHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー機能（DHCPサーバーがIPアドレスを自動的に割り振る機能）を使用しているときは チェックを入れ、プロバイダーの指示に従い、必要なときにホスト名を入力してください。 （ホスト名が認証に使用されている場合があります。） ● ホスト名には、半角英数字、記号が使えます。 （☞ 146ページ） ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

つづく

ネットワークにつなぐ

設定項目	設定内容
デフォルトゲートウェイ※1 （Static／DHCP設定のみ）	● ネットワーク管理者またはプロバイダーからデフォルトゲートウェイのIPアドレスを取得し、デフォルトゲートウェイのIPアドレスをデータ入力欄に入力してください。 ● 192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。）
DNSサーバーアドレス※1 （Static／DHCP設定のみ）	● 以下の場合、DNSサーバーアドレスの設定が必要です。 • カメラ画像をFTP転送、Eメール転送するとき • マルチ画面の設定にてカメラをホスト名で登録するとき • ダイナミックDNSサービスを利用するとき • センサーログ通知を使うとき ● ネットワーク管理者またはプロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスを取得し、入力してください。DNSは2つまで設定できます。 ● 192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。）
通信帯域制限	● カメラから送信するデータ量を制限できます。 ●「0.1 Mbps」 から「制限しない」の間で選んでください。 おしらせ 通信帯域制限設定は、次の解像度におけるファイルサイズを参考に設定してください。 1枚のJPEG画像のファイルサイズは、通常次のようになります。（画質の設定は標準です。） 160×120ドット：約3 KB（24 Kbit） 320×240ドット：約10 KB（80 Kbit） 640×480ドット：約18 KB（144 Kbit） ファイルサイズは、画質や被写体の条件（明るさ・被写体の状態など）により変わります。
接続タイプ	● 通常は「自動」を選んでください。無線接続でご使用の場合 **（BL-C20のみ）** は、必ず「自動」を選んでください。接続できないときは、「ご使用の前に／困ったときには」の26ページの「カメラにアクセスできない」を参照してください。

※1 DHCPサーバーから自動取得する場合は、設定する必要はありません。

無線LANを使う（BL-C20のみ）

無線LANの各設定はルーターの設定値に合わせせることによって無線通信ができるようになります。各設定内容はメモしておき、大切に保管してください。

1 設定画面で 無線 をクリックする

2 無線基本設定を行う

無線 基本設定	
SSID	NetCam****
通信モード	○ 802.11b ◉ 802.11b/g ○ 802.11g専用

データ入力欄

設定項目	設定内容
SSID	● 半角英数字32文字以内(大文字・小文字は区別される)で、ネットワークの名前(SSID)をつけます。SSIDが同じ通信チャンネルの端末同士でのみ接続することができます。無線LANに接続する機器にはルーターと同じSSIDを設定してください。
通信モード※1	● 802.11bは、対応製品が豊富かつ安価です。手軽に利用できるだけでなく、すでに広く普及しているので、お手持ちの無線機器を活用したいときなどに便利です。 ● 802.11b／gは、802.11bと802.11gの両方の無線LAN規格に対応しています。既存の無線LAN環境に導入しやすい通信方式です。(工場出荷値) ● 802.11g専用は、802.11g通信のみを行います。802.11g専用に設定すれば、802.11b／gの共用モードはサポートしないので、本来の802.11gの性能が発揮されます。※2

※1 インフラストラクチャーモードのみサポートしています。アドホックモードはサポートしていません。

※2 802.11g専用を使用されても、他の2.4 GHz帯の無線機器(802.11b無線機器を含む)が存在するとその影響を受けて通信速度が遅くなります。

ご利用の環境や機器により通信速度が遅くなる場合があります。

つづく

3 無線暗号化設定を行う

データ入力欄

設定項目	設定内容
暗号化方式	●「暗号化なし」または「WEP方式」を選びます。工場出荷値は「暗号化なし」です。 ● 第三者に通信内容を見られたりすることを防ぐために、「WEP方式」を使用されることを推奨します。
WEPキー1～4	● 接続しているルーターで選択しているものと同じキー番号、同じキーを選択してください。 ● プルダウンリストから、「16進10文字 64 bit」、「16進26文字 128 bit」、「16進32文字 152 bit」、「英数 5文字 64 bit」、「英数13文字 128 bit」、「英数16文字 152 bit」のいずれかを選んでください。 ● 空欄に、プルダウンリストで選んだ項目の文字数を入力してください。「16進」は、16 進数(半角英数字で"0"～"9"、"A"～"F"または"a"～"f"、大文字と小文字は区別されません)で入力してください。「英数」は、英数字(☞ 146ページ、大文字と小文字は区別されます)で入力してください。 (例) WEPキー　16進10文字　64 bit　012345abcd WEPキー　16進26文字　128 bit 0123456789abcdef012345abcd WEPキー　16進32文字　152 bit 0123456789abcdef0123456789abcdef WEPキー　英数5文字　64 bit　012yz WEPキー　英数13文字　128 bit　0123456 uvwxyz WEPキー　英数16文字　152 bit　0123456789uvwxyz

● 接続しようとする無線機器によっては、WEP 152 bitに対応していない場合があります。
● Open System認証にのみ対応しています。ルーターやアクセスポイントの設定がShared Key認証になっている場合には、AutoまたはOpen System認証に変更してください。

つづく

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

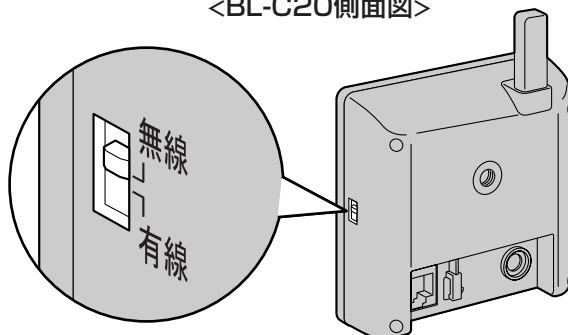
5 **無線設定画面へ** をクリックする

- 無線設定画面が表示されます。

6 切替スイッチを無線にする

7 イーサネットケーブルを抜き、電源を入れなおす

- 新しい設定が反映されるまでに約1分かかります。新しい設定が反映されるまで、無線の設定値は変更できません。
- 有線と無線の両方で同時にカメラへ接続することはできません。
- 無線で起動する場合、電源ONから5分間、おしらせランプは無線の電波状態を表示します。(☞ 106ページ)
- 無線通信を行うには、有線でカメラに接続して設定を行ったあと、電源を抜き、切替スイッチ（下図参照）を無線側に切り替えて、電源を入れる必要があります。
- カメラは有線接続していても、電源を入れたあと約5分間は電波を出していますので、ルーターのワイヤレスインジケーターが点灯または点滅することがあります。約5分後には、電波は停止しますので、しばらくお待ちください。
- 無線と有線を切り替えたときには、カメラを再起動してください。また、ルーターによっては、カメラのスイッチ切り替え後に、ルーターを再起動する必要があります。
- 無線ルーターでMACアドレスフィルタリングを設定している場合、カメラ本体のMACアドレスと無線モジュールのMACアドレスを2つとも登録してください。(☞「ご使用の前に/困ったときには」の23ページ)

<BL-C20側面図>

UPnP™機能を使う

UPnP™対応ルーターを使用している場合、自動ポートフォワーディング機能を「有効」に設定することで、カメラを自動的にインターネットに公開できます。
パソコンのUPnP™機能を有効にすることで、カメラへのショートカットをパソコンのマイ ネットワークに表示できます。

1 設定画面で UPnP をクリックする

2 UPnPの設定を行う

BL-C1

BL-C20

データ入力欄

設定項目	設定内容
自動ポートフォワーディング	● ネットワークの設定が「Static設定」または「DHCP設定」の場合、自動ポートフォワーディング機能を有効にすることでカメラを自動的にインターネットへ公開できます。 おしらせ 「自動設定」の場合は、「インターネット公開」(☞ 32ページ) で設定をしてください。
(BL-C1のみ) カメラへのショートカット	● 有効にすることで、同じネットワークにあるパソコンのマイ ネットワークにカメラへのショートカットアイコンを表示できます。 おしらせ この機能は使用しているパソコンのOSがWindows XPまたはWindows Meのときのみ使用することができます。OSのUPnP™機能を有効にする必要があります。(☞ 137ページ)

つづく

3 設定が終わったら 保存 をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 UPnP設定画面へ をクリックする

- UPnP設定画面が表示されます。

ダイナミックDNSサービスに登録する

ダイナミックDNSサービスによって、インターネット経由でカメラ画像をモニタリングできます。ダイナミックDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づける仕組みです。ダイナミックDNS設定画面では、当社が推奨するダイナミックDNSサービスである「みえますねっと」サービス（有料）、または、「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定できます。みえますねっとサービスの詳細については、ウェブサイト(http://www.miemasu.net) を参照してください。

ユーザー指定ダイナミックDNSサービスについて

- 当社では、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、お客様に何らかの障害や損害が発生したとしても、当社では責任を負いかねます。
- みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関するお問い合わせは、当該サービスの提供事業者にお願いいたします。

1 設定画面で ダイナミックDNS をクリックする

- 「みえますねっと」サービスに登録する場合は41ページへ、「ユーザー指定ダイナミックDNS」サービスに登録する場合は43ページへ進んでください。

<「使用しない」を選ぶ場合>

2 「使用しない」をチェックし 保存 をクリックする

- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。
- ダイナミックDNSサービスは無効です。
- 元に戻す をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

つづく

<「みえますねっと」サービスに登録する場合>

2 「みえますねっと」をチェックし、 次へ > をクリックする

- 元に戻す をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

3 保存 をクリックする

- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

4 OK をクリックする

5 みえますねっと設定画面へ をクリックする

- みえますねっと設定画面が表示されます。

つづく

6 「みえますねっと登録へのリンク」をクリックする

- みえますねっとサービスの登録画面を表示します。

- みえますねっとサービスの登録画面が表示されないときは、「みえますねっと登録へのリンク」の右側の欄にURLが表示されているか確認してください。表示されていないときは、以下の手順で確認してください。
  1. しばらく待ってからウェブブラウザの「更新」をクリックする。
  2. カメラと同じネットワークにあるパソコンからインターネットにつながることを確認する。
- カメラURLは、みえますねっとサービスに登録したあとに使用できるようになります。
- ルーターにポートフォワーディング設定がされていないとき、またはカメラを接続しているネットワークにインターネットからアクセスできないときは、みえますねっとサービスは利用できません。

7 画面に従って登録する

- みえますねっと設定画面を表示します。

8 登録したカメラURLでインターネット側からカメラにアクセスする (☞ 7ページ)

- カメラのトップ画面が表示されれば、みえますねっとサービスの登録は完了しています。

- 登録したカメラURLが有効になるまでに最大で30分くらいかかる場合があります。
- みえますねっと設定、または、ステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、「期限切れです」が表示されている場合、カメラを再起動してください。再起動後、みえますねっと設定、または、ステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、登録したURLが表示されていることを確認してください。

インターネット経由でアクセスできることを確認する

カメラと同じルーターにつながっているパソコンから、「インターネットで使用：http://***.***.***.***」のアドレスでアクセスしても、ルーターによっては画像が表示されないことがあります。その場合は、以下の方法で確認してください。

① **インターネットにつながっている別のネットワークのパソコンで確認する：http://***.***.***.***:*****

② **携帯電話で確認する：http://***.***.***.***:*****/mobile**

ダイナミックDNSサービスに登録する

<「ユーザー指定ダイナミックDNS」サービスに登録する場合>

2 「ユーザー指定ダイナミックDNS」をチェックし、 **次へ >** をクリックする

- **元に戻す** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- **キャンセル** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。
- ダイナミックDNSを使うために必要な情報は、ダイナミックDNSサービスプロバイダーから得られます。

つづく

ダイナミックDNSサービスに登録する

データ入力欄

設定項目	設定内容
ダイナミックDNSサーバーURL	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーから取得したURLを入力してください。1～255文字の半角英数字が使えます。（☞ 146ページ）ただし、[スペース]、["]は使えません。 また、先頭文字列がhttp://でない場合はエラーとなります。
更新時間	● 更新時間を指定してください。
ユーザー名・パスワード設定	● ユーザー名：ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したユーザー名を入力します。 ● パスワード：ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したパスワードを入力します。 ● 0～63文字の半角英数字が使えます。（☞ 146ページ）ただし、［”］、［：］は使えません。

4 設定が終わったら 保存 をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

5 ダイナミックDNS設定画面へ をクリックする

● ダイナミックDNS設定画面が表示されます。

● カメラURLが有効になるまでに、数分から数十分かかることがあります。
● カメラが対応していないダイナミックDNSサービスプロバイダーがあります。ダイナミックDNSサービスとして、当社は「みえますねっと」サービスを推奨します。

インターネット経由でアクセスできることを確認する

カメラと同じルーターにつながっているパソコンから、「インターネットで使用：http://***.***.***.***」のアドレスでアクセスしても、ルーターによっては画像が表示されないことがあります。その場合は、以下の方法で確認してください。

① **インターネットにつながっている別のネットワークのパソコンで確認する：http://***.***.***.***:*****

② **携帯電話で確認する：http://***.***.***.***:*****/mobile**

時刻を合わせる

時刻の設定、確認を行います。ここで設定した時刻は、動作条件設定、センサーログ通知設定、公開時間設定、一時保存画像への時刻記載に使われます。

時計の設定を保存すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。

1 設定画面で 時計 をクリックする

2 現在の時刻を設定する

- NTPサーバーによる時計の自動調整を利用するときは、「自動調整を行う」にチェックを入れ、NTPサーバーのアドレスまたはホスト名を入力してください。

- 元に戻す をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

つづく

時刻を合わせる

データ入力欄

設定項目	設定内容
時計設定	● 日付を選び、表示切替（12時間制または24時間制）を選んでください。選んだ表示に従って、ほかの設定項目が表示されます。ここで設定した時刻は、動作条件設定、センサーログ通知設定、公開時間設定や、一時保存画像への時刻記載に使われます。ただし、FTP転送、Eメール転送の件名やファイル名は24時間制で表示されます。
NTPサーバーによる時計の自動調整	正確な日付、時刻をネットワークから1日ごとに自動的に取り込みます。NTPサーバーによる時計の自動調整を利用するときは、チェックを入れて以下の設定を行ってください。 ● NTPサーバーのアドレス※1またはホスト名※2: ネットワーク管理者またはプロバイダーに確認のうえ、入力してください。 ● タイムゾーン: 地域を指定します。「日本」(GMT+09:00 日本)の指定になっていますので、変更の必要はありません。 おしらせ NTPサーバーのなりすましなどによる誤動作を避けるために、時刻が1時間以上ずれている場合は、自動調整されないようになっています。

※1 192.168.0.253のように4つの数字(0～255)と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。)
※2 半角英数字のみ使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、[”]、[’]、[&]、[<]、[>]は使えません。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **時計設定画面へ** をクリックする

● 時計設定画面が表示されます。

時刻は、電源をONにしている時間やご使用温度による内部の温度状態により、進んだり遅れたりします。NTPサーバーによる時計の自動調整を推奨します。

カメラの初期設定を変更する

カメラ名、ホワイトバランス、電源周波数、カラーナイトビューモードの設定を行えます。

1 設定画面で カメラ をクリックする

2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- 元に戻す をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
カメラ名	● ここで設定した名前がシングル画面の上に表示されます。 ● 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。 半角は、英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、半角 [スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
ホワイトバランス	● 次の設定を選べます。 ・ 自動（工場出荷値）..........自動調整 ・ 屋内..................................2800 K、電球色 ・ 蛍光灯（白色）..................3600 K、白色 ・ 蛍光灯（昼白色）.............4000 K、昼白色 ・ 屋外..................................6000 K、太陽光 ※ K（ケルビン）は、色温度の単位です。

つづく

カメラの初期設定を変更する

設定項目	設定内容
電源周波数	● 電源周波数によっては、蛍光灯などの照明の影響で画面にノイズが入ることがあります。 ● 50 Hz (工場出荷値) ● 60 Hz ※電源周波数は、東日本50 Hz、西日本60 Hzです。
カラーナイトビューモード	● カラーナイトビューモードが「許可」の場合、暗い場所を表示するときにのみカラーナイトビューモードが働き、画像が明るくなります。明るい場所を表示しているときは、カラーナイトビューモードは働きません。 ●「許可」にしていると、画像更新速度（フレームレート）が遅くなります。 ● 照度が低くかつ動きのある被写体を映すと、被写体がぶれて被写体の判別ができなかったり、映らない場合があります。 おしらせ 暗い被写体を映しているときに、画面全体が白っぽくなったり、横筋状の線が生じる場合があります。これはCMOSセンサー（撮像素子）の特性なので、故障ではありません。

3 設定が終わったら 保存 をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 カメラ設定画面へ をクリックする

● カメラ設定画面が表示されます。

認証設定や管理者のユーザー名とパスワードの設定を変更する

セキュリティ設定を行うため、認証設定や管理者のユーザー名とパスワードの設定を変更します。カメラへアクセスする際に認証画面を表示し、登録されているユーザー名とパスワードを入力したユーザーのみアクセスできるようにします。

- お買い上げ時、または工場出荷値に戻したあと初めてカメラにアクセスするときは、管理者のユーザー名、パスワードを設定する画面が表示されます。設定したユーザー名、パスワードは忘れないようにメモしてください。
- ユーザー名・パスワードについては、自己の責任で適正に管理してください。また、その設定に際しては、以下の点にも十分注意してください。
  - ユーザー名、パスワードはともにできるだけ文字数が多いものを設定する
  - パスワードは定期的に変更する
- 「認証設定」で「未登録ユーザーを許可 (ユーザー名・パスワードなしで公開)」、または「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)」に設定した場合には、画像を第三者に見られる可能性があります。被写体のプライバシーにはご注意ください。

1 設定画面で 管理者 をクリックする

2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- 元に戻す をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

つづく

認証設定や管理者のユーザー名とパスワードの設定を変更する

データ入力欄

設定項目	設定内容
認証設定	認証設定は、次の3とおりから選べます。 ●「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、カメラにアクセスしても、認証画面を表示しなくなります。未登録のユーザーで、ユーザー名とパスワードを知らなくても、カメラ画像を見られるようになります。 おしらせ　「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、画面上部に「ログイン」タブが表示されます。管理者としてログイン（☞ 52ページ）することによって、設定画面、メンテナンス画面にアクセスできるようになります。 サポート　ログイン ●「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、携帯電話用画面にアクセスしても、認証画面を表示しなくなります。未登録のユーザーで、ユーザー名とパスワードを知らなくても、カメラ画像（静止画）が見られます。 ●「未登録ユーザーを禁止」にすると、カメラにアクセスしたときには、認証画面を表示します。認証画面上でユーザー名とパスワードを入力しなければいけません。
ユーザー名・パスワード設定	● ユーザー名（半角6～15文字）：ユーザー名を入力します。 ● パスワード（半角6～15文字）：パスワードを入力します。 おねがい　パスワードはユーザー名と異なったものにしてください。 ● パスワード再入力：確認のため同じパスワードを再入力します。 ● 半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ）ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[：] は使えません。

● 認証設定をするときは、ユーザー名、パスワードを必ず入力し、保存してください。
● **管理者以外の人がカメラにアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。**
● 大文字と小文字は区別されます。

つづく

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"が表示されます。

4 **管理者設定画面へ** をクリックする

- 管理者設定画面が表示されます。

管理者のユーザー名とパスワードを変更したときは、認証画面が表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力して **OK** をクリックしてください。

■管理者／一般ユーザー／未登録ユーザーについて

カメラにアクセスできるユーザーには、管理者、一般ユーザー、未登録ユーザーという3つの階層があります。

項目	管理者	一般ユーザー	未登録ユーザー
ユーザー名と パスワード設定	必要	必要	不要
登録数	1名	50名	—
アクセスできる画面	全画面	設定、メンテナンス画面以外	設定、メンテナンス画面以外
機能許可設定 （レベル1～2）	すべての操作を行えます。	一般ユーザーごとに機能許可設定を行えます。（レベル1～2） （☞ 53ページ）	未登録ユーザーの機能許可設定を行えます。（レベル1～2） （☞ 53ページ）

未登録ユーザーとは、不特定多数のユーザーのことです。管理者設定画面で、「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)」、または、「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開)」に設定する必要があります。

ログインする

管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、画面上部に「ログイン」タブが表示されます。管理者でログインすることによって、設定画面、メンテナンス画面にアクセスできるようになります。また、一般ユーザーでログインすることにより、そのユーザーの機能許可設定が有効になります。

1 画面上の「ログイン」タブをクリックする

2 ログイン種別を選び **ログイン** をクリックする

次の認証画面が表示されます。一般ユーザーまたは管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。

3 ユーザー名とパスワードを入力して **OK** をクリックする

● カメラにログインできます。

一般ユーザーを新規登録、変更、削除する

一般ユーザーの新規登録／変更／削除を行えます。登録できる一般ユーザーの数は最大50人です。一般ユーザーごとの機能許可も設定できます。管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」、または、「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしているときは、未登録ユーザーに対しても、使える機能を制限できます。

一般ユーザーとして登録されたユーザーには、画面上の「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。

1 設定画面で 一般ユーザー をクリックする

2 一般ユーザーを新しく登録するときは、 **新規登録** をクリックする

- 認証設定で「未登録ユーザーを禁止」にしているとき

- 認証設定で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」、または、「携帯電話用画面のみ未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしているとき

- 未登録ユーザーまたは登録した一般ユーザーの設定を変更したいときは、一般ユーザー名を選び **変更** をクリックすると、一般ユーザー変更画面が表示されます。
- 登録した一般ユーザーを削除したいときは、一般ユーザー名を選び **削除** をクリックすると、一般ユーザー削除確認画面が表示されます。削除するユーザー名を確認して、 **削除** をクリックしてください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- 一般ユーザーを設定するとき

ユーザー名・パスワード設定
ユーザー名（半角6～15文字）
パスワード（半角6～15文字）
パスワード再入力
機能許可設定
○レベル1（画像参照のみ許可します）
◉レベル2（画像参照とすべてのカメラ操作を許可します）
保存　戻る

- 未登録ユーザーを設定するとき

機能許可設定
○レベル1（画像参照のみ許可します）
◉レベル2（画像参照とすべてのカメラ操作を許可します）
保存　戻る

- **戻る** をクリックすると入力した設定値は、保存されずに前の画面に戻ります。

つづく

一般ユーザーを新規登録、変更、削除する

データ入力欄

設定項目	設定内容
一般ユーザー名一覧	● 登録している一般ユーザー名の一覧です。最大50人まで登録できます。 ● 一般ユーザーを新規登録したり、登録している一般ユーザーを変更したり、削除したりするときに一覧から選びます。
ユーザー名・パスワード設定	● ユーザー名（半角6～15文字）： ユーザー名を入力します。 ● パスワード（半角6～15文字）： パスワードを入力します。 おねがい　パスワードはユーザー名と異なったものにしてください。 ● パスワード再入力： 確認のため同じパスワードを再入力します。 ●半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ） ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[：]は使えません。
機能許可設定	未登録ユーザーまたは一般ユーザーのレベルを指定することで、使える機能を制限します。レベルによって、行える操作が異なります。 ●レベル1：カメラ画像を見ることだけができます。 ●レベル2：カメラ画像を見ることと、明るさの調整ができます。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

5 **一般ユーザー設定画面へ** をクリックする

- 一般ユーザー設定画面が表示されます。

カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ

本ページから91ページまでは、カメラ画像の一時保存／転送の設定手順、内容について記載しています。
設定の流れは、以下のようになります。実際の設定の際に参考にしてください。

タイマーによる一時保存／転送設定の流れ
(☞ 56ページ)

動作日時設定
▼
画像設定
▼
間隔設定
▼
一時保存／転送設定
(下記からいずれかを選ぶ)
- 上書きなしで一時保存
- 上書きありで一時保存
- FTP転送
- Eメール転送

▼
保存して設定完了

人感センサーによる一時保存／転送設定の流れ
(☞ 66ページ)

動作日時設定
▼
画像設定
▼
間隔設定
▼
一時保存／転送設定
(下記からいずれかを選ぶ)
- 上書きなしで一時保存
- 上書きありで一時保存
- FTP転送
- Eメール転送

▼
検知時のEメール通知設定
▼
保存して設定完了
▼
センサーログを通知する
(☞ 95ページ)

動作検知による一時保存／転送設定の流れ
(☞ 79ページ)

動作日時設定
▼
画像設定
▼
間隔設定
▼
一時保存／転送設定
(下記からいずれかを選ぶ)
- 上書きなしで一時保存
- 上書きありで一時保存
- FTP転送
- Eメール転送

▼
検知時のEメール通知設定
▼
保存して設定完了
▼
動作検知感度を設定する
(☞ 92ページ)
▼
センサーログを通知する
(☞ 95ページ)

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

タイマーにより、カメラ画像を一時保存またはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件

No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知	無検知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「タイマー」を選び、 **次へ>** をクリックする

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、 **一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存され、一時保存されている画像が消去されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「センサー」を選ぶと、設定した時間に人感センサーが人などを検知したときに、カメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間に画像の動きを検知したときに、決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時は、カメラ内部の時計が使われます。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(☞ 45ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

つづく

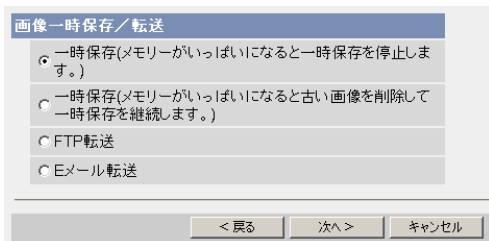
5 画像設定を行い 次へ＞ をクリックする

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)、160×120ドット)
画質	● 画質優先　：画像の画質を優先します。(動きは遅くなります。) 標準　：標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先　：画像の動きを優先します。(画質は粗くなります。) 携帯電話用　：携帯電話に転送するときにはこの設定にします。 おしらせ　画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

6 一時保存／転送する間隔を設定して 次へ＞ をクリックする

ネットワーク環境、被写体、アクセス数の影響で、指定した枚数分録画されない場合があります。

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
間隔	● 一時保存／転送するときの間隔を選びます。（1時間に1枚～1秒間に15枚）

7 一時保存／転送方法を選び 次へ> をクリックする

FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。（☞ 30ページ）

- <戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存（上書きなし）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存（上書きあり）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。（☞ 60ページ）
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。（☞ 62ページ）

つづく

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、 **次へ＞** をクリックすると以下の画面が表示されます。

- **＜戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※2	● サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※2	● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	● サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※1	● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。("/"の入力で、サーバーに作成するディレクトリ名を含められます。) 例：NetworkCamera/image
書込方法	●「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるため、カメラ画像を上書きせずに保存します。 例：image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

つづく

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、 次へ＞ をクリックすると以下の画面が表示されます。

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

- Eメール転送はSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmail® のようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
  ファイル名は「image.jpg」です。
  例: 設定した件名:20050101093020500
  例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

つづく

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者（Eメールアドレス）※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスの入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※2	● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。**プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。** ● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。 ● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

つづく

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

設定項目	設定内容
認証方法	• 受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※1：　サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。） • ポート番号：　設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。 • ログインID※2：　POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ● SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証はPLAIN方式とLOGIN方式です。 • ログインID※2：　SMTP認証をするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　SMTP認証をするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

タイマーでカメラ画像を一時保存または転送する

8 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

9 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。

内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、一時保存画像はすべて消去されます。

- 電源を切る。
- 「時計」の設定内容を保存する。
- **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

人感センサーが温度変化を検知したときにカメラ画像を一時保存またはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。

1 設定画面で 動作条件 をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件

No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知	無検知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「センサー」を選び、 次へ＞ をクリックする

● 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、 一時保存されている画像を消去する。 をクリックします。

● 保存 をクリックすると、設定が保存され、一時保存されている画像が消去されます。

● キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「センサー」を選ぶと、設定した時間に人感センサーが人などを検知したときに、カメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間に画像の動きを検知したときに、決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して 次へ＞ をクリックする

タイマー機能は、カメラ内部の時計が使われます。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。（☞ 45ページ）

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

つづく

5 画像設定を行い 次へ > をクリックする

- < 戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送するときの解像度を選びます。 （640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)、160×120ドット）
画質	画質優先　：画像の画質を優先します。（動きは遅くなります。） 標準　　　：標準の画質です。（工場出荷値） 動き優先　：画像の動きを優先します。（画質は粗くなります。） 携帯電話用：携帯電話にEメール転送するときにはこの設定にします。 おしらせ　画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

6 一時保存／転送する間隔と無検知時間を指定して 次へ＞ をクリックする

ネットワーク環境、被写体、アクセス数の影響で、指定した枚数分録画されない場合があります。

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。人感センサーが温度変化を検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」（☞ 147ページ）を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。人感センサーが温度変化を検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」（☞ 147ページ）を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
無検知時間	● センサー検知による一時保存／転送処理終了後、センサー検知をしない時間を指定します。携帯電話にEメールを転送し過ぎないようにするために、この機能のご使用をおすすめします。 ● センサー検知後、指定された時間を経過するまで、次のセンサー検知を行いませんので、画像が取得できない恐れがあります。（☞ 78ページ） おしらせ 無検知時間中は、内部メモリーに画像を取得できないので、検知前の画像を内部メモリーに保存できません。間隔設定において、例えば、「検知前画像を1秒間に1枚間隔で10枚保存する」と設定しておいても、画像が内部メモリーに取得できていないために、無検知時間終了直後に検知した場合には、画像が保存されません。無検知時間が終了して10秒以上たてば、画像は設定どおりに取得できます。（☞ 78ページ）

つづく

7 一時保存／転送する方法を指定して 次へ > をクリックする

FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(☞ 30ページ)

- <戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存 (上書きなし)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存 (上書きあり)	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。(☞ 72ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。(☞ 74ページ)

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、 次へ> をクリックすると以下の画面が表示されます。

- <戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーの アドレスまたは ホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※2	● サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※2	● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログイン タイミング	● サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※1	● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"の入力で、サーバーに作成するディレクトリ名を含められます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	●「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるため、カメラ画像を上書きせずに保存します。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

つづく

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、 次へ＞ をクリックすると以下の画面が表示されます。

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

- Eメール転送はSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
  ファイル名は「image.jpg」です。
  例: 設定した件名:20050101093020500
  例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

人感センサーでカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者（Eメールアドレス）※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレス入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※2	● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。**プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。** ● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。 ● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

つづく

設定項目	設定内容
認証方法	• 受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※1：　サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。） • ポート番号：　設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。 • ログインID※2：　POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ● SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証はPLAIN方式とLOGIN方式です。 • ログインID※2：　SMTP認証をするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　SMTP認証をするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

つづく

8 設定値を確認して 次へ＞ をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、 次へ＞ をクリックする

● 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、75〜76ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送れます。あて先は3件まで設定できます。

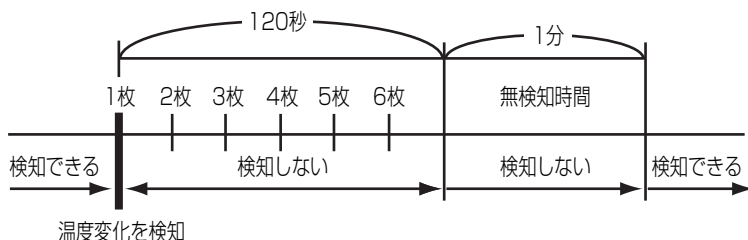
9 設定値を確認して 保存 をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

つづく

10 動作条件設定画面へ をクリックする

● 動作条件設定画面が表示されます。

- **携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、パケット料金が多くかかる可能性があるため、転送間隔の長めの設定をおすすめします。**
  携帯電話への転送間隔設定の推奨例：
  1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送
- **人感センサーによる画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。**
  例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を無検知時間1分で一時保存／転送する場合のセンサーの検知動作は以下のようになります。

- 内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、内部メモリー内の一時保存画像はすべて消去されます。
  - 電源を切る。
  - 「時計」の設定内容を保存する。
  - 再起動 あるいは バージョンアップ 、工場出荷値に戻す を行う。

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

動作検知により、カメラ画像を一時保存またはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。

- 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、検知レベルが異なります。実際に動作検知を行い、検知レベルを確認してください。（☞ 92ページ）
- 動作検知の設定を有効にすると、画像更新速度（フレームレート）が低下します。
- 光や風などの影響により画面に変化が生じた場合は、誤って検出することがあります。
- 暗いときは動作検知できない場合があります。
- 動きが速い物体は動作検知できない場合があります。より確実に画像の一部分の小さな動作を検知するためには、検知したい対象物からカメラをなるべく離して設置して対象物を画面内に十分収めるとともに、しきい値はより低めに、感度はより高めに設定してください。

1 設定画面で 動作条件 をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件

No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知	無検知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	−	−

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「動作検知」を選び、 次へ＞ をクリックする

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、 **一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「センサー」を選ぶと、設定した時間に人感センサーが人などを検知したときに、カメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、設定した時間に画像の動きを検知したときに、決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時は、カメラ内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(☞ 45ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面に戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

つづく

5 画像設定を行い 次へ＞ をクリックする

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送するときの解像度を選びます。 （640×480ドット、320×240ドット（工場出荷値）、160×120ドット）
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。（動きは遅くなります。） 標準： 標準の画質です。（工場出荷値） 動き優先： 画像の動きを優先します。（画質は粗くなります。） 携帯電話用：携帯電話に転送するときにはこの設定にします。 おしらせ 画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

つづく

6 一時保存／転送する間隔と無検知時間を指定して 次へ> をクリックする

ネットワーク環境、被写体、アクセス数の影響で、指定した枚数分録画されないことがあります。

- <戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

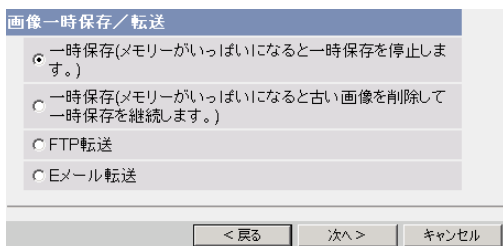
つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。動作を検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」（☞ 147ページ）を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。動作を検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。 ● 一時保存／転送するときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」（☞ 147ページ）を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
無検知時間	● 動作検知による一時保存／転送処理終了後、動作検知をしない時間を指定します。携帯電話にEメールを転送し過ぎないようにするために、この機能のご使用をおすすめします。 ● 動作検知後、指定された時間を経過するまで、次の動作検知を行いませんので、画像が取得できない恐れがあります。（☞ 91ページ） おしらせ　無検知時間中は、内部メモリーに画像を取得できないので、検知前の画像を内部メモリーに保存できません。間隔設定において、例えば、「検知前画像を1秒間に1枚間隔で10枚保存する」と設定しておいても、画像が内部メモリーに取得できていないために、無検知時間終了直後に検知した場合には、画像が保存されません。無検知時間が終了して10秒以上たてば、画像は設定どおりに取得できます。（☞ 91ページ）

つづく

7 一時保存／転送方法を選び 次へ＞ をクリックする

FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。（☞ 30ページ）

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存（上書きなし）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存（上書きあり）	● カメラ内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送できます。（☞ 85ページ）
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送できます。（☞ 87ページ）

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、 次へ＞ をクリックすると以下の画面が表示されます。

● ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。

● キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件件設定画面に戻ります。

つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※2	● サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※2	● サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	● サーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないため、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減できます。
ファイル名※1	● サーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"の入力で、サーバーに作成するディレクトリ名を含められます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	●「上書きする」を選ぶとサーバー上にカメラ画像を上書き保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるため、カメラ画像を上書きせずに保存します。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、 次へ＞ をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名
ポート番号(標準25、1～65535) 25
送信者(Eメールアドレス)
あて先1(Eメールアドレス)
あて先2(Eメールアドレス)
あて先3(Eメールアドレス)
件名(半角44文字,全角22文字以内)
本文(半角63文字,全角31文字以内)
認証方法
認証なし
POP before SMTP 認証
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名
ポート番号(標準110、1～65535) 110
ログインID(半角1～63文字)
パスワード(半角0～63文字)
SMTP認証
ログインID(半角1～63文字)
パスワード(半角0～63文字)
＜戻る 次へ＞ キャンセル

- ＜戻る をクリックすると、前の画面に戻ります。
- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに動作条件設定画面に戻ります。

- Eメール転送はSMTP（Simple Mail Transfer Protocol）を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
  ファイル名は「image.jpg」です。
  例: 設定した件名:20050101093020500
  例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

つづく

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者 （Eメールアドレス）※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレス入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※2	● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。
認証方法	Eメールを送信するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。**プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。** ● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。 ● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこでEメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後にEメールを送信します。（次ページへつづく）

つづく

設定項目	設定内容
認証方法	• 受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※1：　サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。） • ポート番号：　設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。 • ログインID※2：　POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ● SMTP認証：EメールをSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証はPLAIN方式とLOGIN方式です。 • ログインID※2：　SMTP認証をするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　SMTP認証をするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

8 設定値を確認して 次へ> をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、 次へ> をクリックする

● 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、88～89ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● FTP転送、Eメール転送を行っても、通知のEメールは送られません。
通知する	● FTP転送、Eメール転送を行ったときに、通知のEメールを送れます。あて先は3件まで設定できます。

9 設定値を確認して 保存 をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

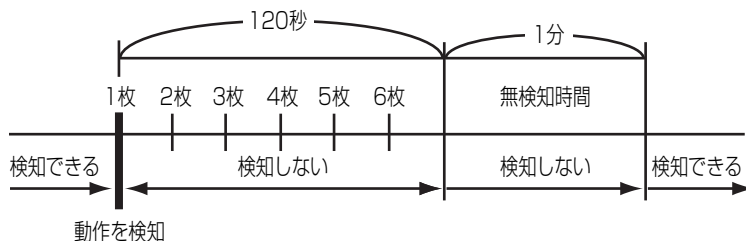
つづく

動作検知でカメラ画像を一時保存または転送する

10 動作条件設定画面へ をクリックする

● 動作条件設定画面が表示されます。

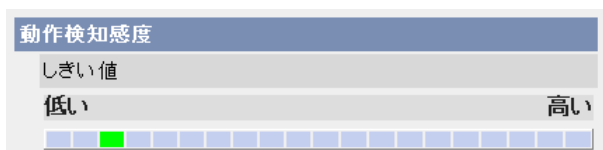
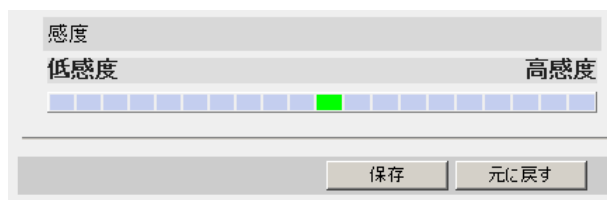
● **携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、パケット料金が多くかかる可能性がありますので、転送間隔の長めの設定をおすすめします。**
携帯電話への転送間隔設定の推奨例：
1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

● **動作検知による画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を無検知時間1分で一時保存／転送する場合の動作検知は以下のようになります。**

● 内部メモリーに一時保存している場合は、下記の操作を行っても、内部メモリー内の一時保存画像はすべて消去されます。
- 電源を切る。
- 「時計」の設定内容を保存する。
- 再起動 あるいは バージョンアップ、工場出荷値に戻す を行う。

動作検知感度を設定する

動作検知の感度を変更できます。動作条件が動作検知のとき有効になります。「しきい値」は、動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど小さな変化で検知します。「感度」は、感度が高いほど動作検知バーの振幅が大きくなります。動作検知機能の詳しい説明については、93ページの「動作検知機能について」を参照してください。

1 設定画面で 動作検知感度 をクリックする

2 「しきい値」バーをクリックする

3 「感度」バーをクリックする

4 保存 をクリックする

- 元に戻す をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

5 動作検知感度設定画面へ をクリックする

- 動作検知感度設定画面が表示されます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
しきい値	● 動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど、小さな変化で検知します。
感度	● 感度が高いほど、小さな変化を捉え、動作検知バーの振幅が大きくなります。

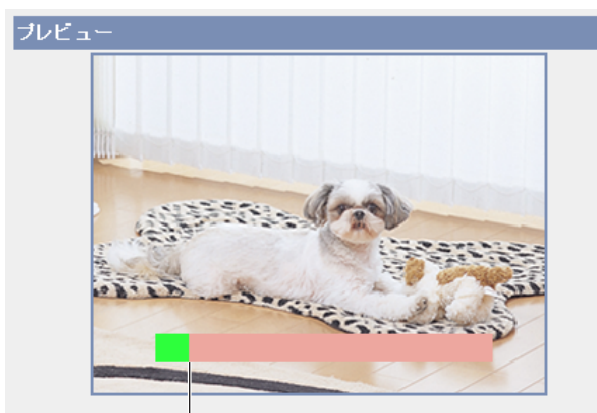
つづく

動作検知感度を設定する

周囲が暗い環境で、「おしらせランプ」点灯、あるいは点滅設定時に、被写体がカメラの近くにある場合、被写体の材質などによっては、「おしらせランプ」の光が被写体に当たった際に、動作検知する場合がありますので、、動作検知感度の「しきい値」を高く、または、「感度」を低感度に設定し、調整してください。

プレビュー

現在のしきい値の設定値と検知レベルが表示されます。

- しきい値：緑色と赤色の境で表示されます。
- 検知レベル：濃い色と薄い色の境で表示されます。検知レベルがしきい値を超えると、動作を検知します。
- 設定したしきい値および感度は保存したあとに有効になり、プレビューに反映されます。

しきい値

動作検知機能について

動作検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知機能を使わないことをおすすめします。動作検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

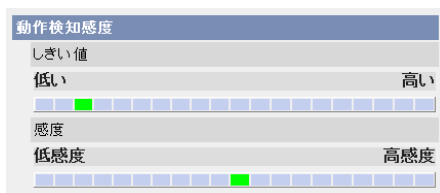
■ しきい値とは？

動作検知を行う場合に、カメラ画像に動きがあったかどうかを判断するために設定する値です。小さな動きの変化に応じて検知したい場合は、低い値に設定してください。カメラ画像の半分以上を占めるような大きな動きの変化に応じて検知したい場合は、高い値に設定してください。

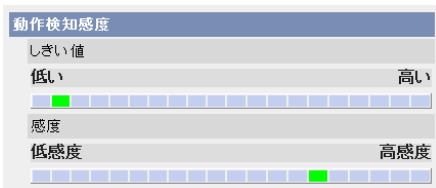
つづく

動作検知感度を設定する

■ 感度とは？

感度は、画像の輝度にどのくらいの変化がある場合に動きがあると判断するかを決めるために設定する値です。高感度に設定すると、わずかな輝度の変化でも動きとして捉えます。大きな輝度変化の場合だけを動きとして捉えたいときは、低感度に設定してください。

検知レベルが「しきい値」以上になると、検知します。

「しきい値」で設定したレベルに対応

しきい値はより低めに、感度はより高感度に設定することで、画像の一部分の小さな動きでも動作を検知し、より簡単に動きを検知できます。

カメラ搭載の動作検知は、動きの変化を動体の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。
ただし、蛍光灯などにより全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合がありますのでご注意ください。一方、別売のカメラ専用録画プログラムの動作検知は、動きの変化を動体全体の変化と輝度変化によって検知しています。したがって同じ動作を検知するための設定が、カメラの動作検知と録画プログラムとでは異なります。
また、背景と同色の衣服を着た人物の動きなどに対して検知しにくい場合があります。

センサーログを通知する

一日一回、指定した時間に送付されるEメールでセンサーログを確認できます。センサーログを通知するには、動作条件をセンサー、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。

1 設定画面で センサーログ通知 をクリックする

2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

3 保存 をクリックする

- キャンセル をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

4 センサーログ通知設定画面へ をクリックする

- センサーログ通知設定画面が表示されます。

動作設定を変更して保存すると、新着センサーログは消去されます。

つづく

センサーログを通知する

データ入力欄

設定項目	設定内容
動作設定	● センサーログの通知動作について選びます。
日時設定	● センサーログを通知する場合、一日一回Eメールで通知します。その通知日時を設定します。
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※1	● サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。)
ポート番号	● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
送信者（Eメールアドレス）※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレス入力をおすすめします。
あて先1～3（Eメールアドレス）※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
認証方法	センサーログを通知するときのユーザー認証について、認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証の3とおりが選べます。**プロバイダーによっては、POPサーバーの認証が必要な場合があります。その場合は、POP before SMTP認証に設定してください。** ● 認証なし：Eメール送信時に、ユーザー認証を行いません。 ● POP before SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーには認証機能がないものがあります。そこで、Eメールを送信する前に、Eメールを受信するPOPサーバーの認証機能を利用し、認証後に、Eメールを送信します。（次ページへつづく）

つづく

設定項目	設定内容
認証方法	• 受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※1：　サーバーのアドレスを設定するときは、192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。） • ポート番号：　設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。 • ログインID※2：　POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。 ● SMTP認証：Eメールを送信するSMTPサーバーで、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。プロバイダーがSMTP認証に対応していることが必要です。カメラが対応しているSMTP認証はPLAIN方式とLOGIN方式です。 • ログインID※2：　SMTP認証をするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）1～63文字の半角英数字、記号を入力します。 • パスワード※2：　SMTP認証をするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。

※1 ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。
※2 ただし、["]は使えません。

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示の初期設定を変更する

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔などの初期設定（ユーザーがカメラにアクセスしたときに表示する画像設定）を変更できます。動画表示時間の設定や、シングル画面のバナー表示設定もできます。

1 設定画面で 画像表示 をクリックする

2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

● 元に戻す をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

つづく

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示の初期設定を変更する

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 表示する解像度を設定できます。 640×480ドット　「シングル画面」のみ 320×240ドット　（工場出荷値） 160×120ドット　「マルチ画面」のみ
画質	● 画質優先: 画像の画質を優先します。 （動きは遅くなります。） 標準　　: 標準の画質です。（工場出荷値） 動き優先: 画像の動きを優先します。 （画質は粗くなります。）
画像更新間隔	● 画像を更新する間隔を選びます。（動画〜60秒間隔）
動画表示時間制限 ● 動画表示時間 ● 静止画更新間隔	● 動画表示から静止画表示に切り替えるための制限時間を設定します。（制限しない〜60分） ● 切り替えたときの静止画更新間隔を設定します。（3秒〜60秒）
バナー表示設定 ● 表示対象 ● 画像URL※ ● リンク先URL※	「有効」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になり、シングル画面にバナーを表示します。チェックをはずすと、無効になります。 おしらせ ● バナー表示を有効にすると、シングル画面を表示するごとに設定された画像URLにアクセスします。シングル画面を頻繁に切り替えると、画像URLのあるパソコンに負荷がかかることがあります。 ● 認証が必要なパソコンやサーバーにある画像を画像URLに設定する場合、シングル画面を表示するときに認証画面が表示されます。 ● 全ユーザー表示　：カメラにアクセスしたすべてのユーザーにバナーを表示します。 管理者のみ表示　：管理者がアクセスしたときのみバナーを表示します。 一般ユーザーのみ表示：一般ユーザーがアクセスしたときのみバナーを表示します。 ● バナーとして表示させたい画像のURLを入力します。「有効」に設定した場合、画像URLは必ず入力してください。1〜127文字の半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ） ● バナーをクリックしたときに表示させたいリンク先のURLを入力します。0〜127文字の半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ）

※ ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

つづく

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質などの画像表示の初期設定を変更する

3 設定が終わったら 保存 をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 画像表示設定画面へ をクリックする

- 画像表示設定画面が表示されます。

複数台のカメラを登録する

マルチ画面で見るためのカメラのIPアドレスやカメラ名を設定できます。マルチ画面でカメラ画像を見るには、最初にこの画面での設定が必要になります。
最大12件まで登録できます。工場出荷値では、No.1に自カメラが登録されています。

1 設定画面で マルチ画面 をクリックする

2 **追加**をクリックする

No.	状態	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号	表示名
1	有効	selfcamera	--	*****
追加				

- 登録したカメラの番号をクリックするとカメラの編集画面が表示されます。登録したカメラの設定変更または削除を行えます。
- 複数のカメラを設定しているときは、下の画面でカメラ表示No.を入れ替えられます。番号を指定して **移動** をクリックしてください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は保存されずに設定画面に戻ります。
- **このリンクをクリックすると、このカメラの設定を入力します**をクリックすると、自カメラの設定が自動的に入力されます。ポート番号は「--」、表示名は品番が表示されます。

つづく

複数台のカメラを登録する

データ入力欄

設定項目	設定内容
状態	● マルチ画面でカメラ画像を見たいときは、有効のボックスをチェックしてください。
IPアドレス※1 またはホスト名※2(URL)	● マルチ画面で表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	● マルチ画面で表示するカメラのポート番号（1～65535）を入力します。
表示名※3	● マルチ画面で表示するときのカメラの名前を入力します。この表示名はマルチ画面でのみ使用されます。

※1　192.168.0.253のように4つの数（0～255）と3つのピリオドで設定してください。
（ただし“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません）

※2　半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ）ただし、[スペース]、[”]、[’]、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>] は使えません。
入力できる文字数は、1～255文字です。

※3　全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ）
ただし、半角 [スペース]、[”]、[’]、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:] は使えません。
入力できる文字数は、半角（1～15文字）、全角（1～7文字）です。

- **LAN（ローカルエリアネットワーク）内のパソコンからLAN内のカメラ画像を見るときは、プライベートアドレス、ポート番号を設定してください。**
- **インターネットからカメラ画像を見るときは、ホスト名（またはグローバルアドレス）、ポート番号を設定してください。**

4　設定が終わったら 保存 をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- マルチ画面設定画面が表示されます。

カメラ画像を公開する時間を指定する

カメラ画像を公開する曜日、時間帯を設定できます。公開時間以外の時間帯では、青の画像が表示されます。

設定に失敗して意図していない画像を見られる恐れがあります。必ず設定したあとに動作を確認してください。

管理者としてアクセスしているときは、公開時間外でもカメラ画像を見られます。

1 設定画面で 公開時間 をクリックする

2 公開時間設定No.を選び、その番号をクリックする

公開時間設定

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
2	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
3	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
4	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
5	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
6	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
7	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時

1～7の設定がすべて無効の場合は、カメラ画像は常時表示されます。

3 「有効」にチェックして、公開時間を設定する

公開時間設定

有効	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
□	☑	☑	☑	☑	☑	☑	☑	◉ 常時 ○ 午前 0 時 0 分～ 午前 0 時 0 分

保存 戻る

● 戻る をクリックすると、設定は保存されずに前の画面に戻ります。

つづく

カメラ画像を公開する時間を指定する

データ入力欄

設定項目	設定内容
有効	●「有効」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
曜日	● それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
公開時間	● 時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 公開時間設定画面が表示されます。

■ 公開時間の設定について

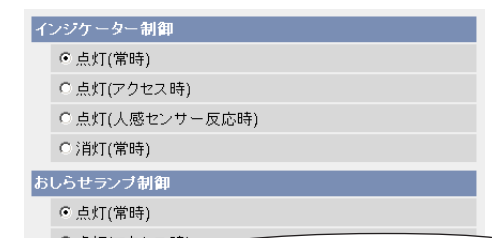
公開時間の設定は「有効」に設定した時間帯はすべて優先されます。したがって、次の画面のように月曜日や火曜日を「無効」にしていても、ほかの設定でその時間を「有効」にしていれば、カメラ画像が見られます。

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	有効	○	○		○	○	○	○	常時
2	有効	○		○	○	○	○	○	常時

インジケーターの動作を変更する

インジケーターの点灯方法を設定できます。誰かがカメラにアクセスしているときのみ点灯させせたり、常時消灯させたりできます。また、「点灯（人感センサー反応時）」に設定することで、カメラを設定するときに人感センサー検知範囲を知ることができます。
工場出荷値では「点灯 (常時)」になっています。

1 設定画面で インジケーター をクリックする

2 インジケーターの制御方法を選ぶ

データ入力欄

設定項目	設定内容
点灯（常時）	● 常にインジケーターが点灯または点滅します。（☞「ご使用の前に／困ったときには」の「インジケーター表示について」）
点灯（アクセス時）	● ユーザーがアクセスしているときのみインジケーターが緑に点灯します。
点灯（人感センサー反応時）	● 動作条件の設定と関係なく、人感センサーが反応したらオレンジに点灯します。人感センサー反応範囲を知るときに便利です。動作検知しても、点灯しません。
消灯（常時）	● 常にインジケーターが消灯します。

● **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

消灯にすると、ネットワークと接続していても点灯しなくなります。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

● 新しく設定した内容が保存されます。
● 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 設定が終わったら **インジケーター設定画面へ** をクリックする

● インジケーター設定画面が表示されます。

おしらせランプの動作を変更する

おしらせランプの点灯方法を設定できます。誰かがカメラにアクセスしているときのみ点灯させたり、常時消灯させたりできます。また、動作や温度変化の検知後に点滅するように設定すると、検知したことを知ることができます。
無線接続の場合（**BL-C20のみ**）、無線の電波状態を知ることもできます。工場出荷値では「点灯（常時）」になっています。

1 設定画面で インジケーター をクリックする

2 おしらせランプの制御方法を選ぶ

データ入力欄

設定項目	設定内容
点灯（常時）	● 常におしらせランプが青に点灯します。 ● **(BL-C20のみ)**「点灯（常時）」（工場出荷値）に設定している場合、電源ONから5分間、おしらせランプは、設置場所の無線の電波状態を次の4段階で表示します。 **おしらせランプ**：点灯／3秒間隔の点滅／1秒間隔の点滅／消灯 **電波状態**：良好／普通／不良／未接続
点灯（アクセス時）	● ユーザーがアクセスしているときのみ、おしらせランプが青に点灯します。
点滅（検知後約20秒間）	● 動作条件で動作検知または人感センサーに設定しているときにセンサーが反応したら、約20秒間青に点滅します。
点滅（検知後消灯ボタンを押すまで）	● 動作条件で動作検知または人感センサーに設定しているときにセンサーが反応したら、青に点滅し続けます。 **消灯** をクリックすると、おしらせランプの点滅は消えます。
消灯（常時）	● 常におしらせランプが消灯します。

おしらせランプ	点灯	3秒間隔の点滅	1秒間隔の点滅	消灯
電波状態	良好	普通	不良	未接続

● **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

つづく

おしらせランプの動作を変更する

周囲が暗い環境で、「おしらせランプ」点灯、あるいは点滅設定時に、被写体がカメラの近くにある場合、被写体の材質などによっては、「おしらせランプ」の光が被写体に当たった際に、動作検知する場合がありますので、、動作検知感度の「しきい値」を高く、または、「感度」を低感度に設定し、調整してください。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 設定が終わったら **インジケーター設定画面へ** をクリックする

- インジケーター設定画面が表示されます。

相手先リストの接続先を登録する

パソコンのウェブブラウザ機能を使って登録した接続先と、「Tナビ」対応テレビ／チューナーを用いたビジュアル双方向通信を行えます。接続先として登録可能なカメラは、簡易ビジュアルコミュニケーションに対応した機種のみです。
簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リストでは、通信を行う接続先のカメラを追加・設定します。最大10件まで登録できます。

1 設定画面で 相手先リスト をクリックする

2 **追加**をクリックする

簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リスト

簡易ビジュアルコミュニケーションで接続するカメラを追加登録する場合は、追加のリンクをクリックしてください。
登録済みカメラを削除したり、設定を変更する場合は、No.欄の数字のリンクをクリックしてください。

No.	相手先名	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号
追加			

- 登録したカメラの番号をクリックするとカメラの編集画面が表示されます。登録したカメラの設定変更または削除ができます。
- 複数のカメラを設定しているときは、下の画面でカメラ表示No.を入れ替えられます。番号を指定して 入れ替える をクリックしてください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

カメラの追加

項目	入力欄
相手先名 (半角22文字,全角11文字まで)	
IPアドレスまたはホスト名	
ポート番号 (1～65535まで)	

保存　戻る

つづく

相手先リストの接続先を登録する

データ入力欄

設定項目	設定内容
相手先名	● 相手先リストに表示する接続先の名前を入力します。半角22文字、全角11文字以内で、任意に入力してください。ただし、半角［"］、［'］、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、［：］は使えません。
IPアドレス※1または ホスト名※2	● 接続先カメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	● 接続先カメラのポート番号(1～65535)を入力します。

※1　192.168.0.253のように4つの数（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません）

※2　半角英数字、記号が使えます。（☞ 146ページ）ただし、[スペース]、［"］、［'］、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]は使えません。
入力できる文字数は、1～255文字です。

- **LAN（ローカルエリアネットワーク）内の「Tナビ」対応テレビ／チューナーからLAN内のカメラ画像を見るときは、プライベートアドレス、ポート番号を設定してください。**
- **インターネットからカメラ画像を見るときは、ホスト名（またはグローバルアドレス）、ポート番号を設定してください。**

4 設定が終わったら 保存 をクリックする

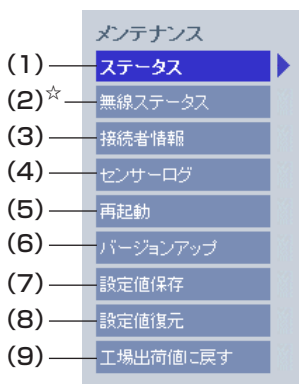
● 設定した内容が簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リストに表示されます。

簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リスト

簡易ビジュアルコミュニケーションで接続するカメラを追加登録する場合は、追加のリンクをクリックしてください。
登録済みカメラを削除したり、設定を変更する場合は、No.欄の数字のリンクをクリックしてください。

No.	相手先名	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号
1	*******	***.***.***.**	*****
追加			

カメラのメンテナンスを行う

メンテナンス
(1) ステータス
(2)☆ 無線ステータス
(3) 接続者情報
(4) センサーログ
(5) 再起動
(6) バージョンアップ
(7) 設定値保存
(8) 設定値復元
(9) 工場出荷値に戻す

☆ BL-C20のみ表示します。

[メンテナンス]

(1) ステータス	カメラの設定／動作状態を表示
(2) 無線ステータス（BL-C20のみ）	無線情報の表示
(3) 接続者情報	カメラに接続しているクライアントの情報表示
(4) センサーログ	センサーログの表示
(5) 再起動	設定値を保存したままの再起動
(6) バージョンアップ	最新のファームウェアへの更新
(7) 設定値保存	設定ファイル作成
(8) 設定値復元	設定ファイルからの設定復元
(9) 工場出荷値に戻す	すべての設定値を工場出荷時の値に戻す（時計を除く）

カメラの状態（ステータス）を確認する

カメラの状態 (ステータス) を確認できます。ここで得られる情報は、トラブル発生時の状況確認などに役立ちます。

メンテナンス画面で ステータス をクリックすると、次の画面が表示されます。

ステータス画面の表示内容については、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/) を参照してください。

無線の状態（ステータス）を確認する（BL-C20のみ）

無線の状態（ステータス）を確認することができます。ここで得られる情報は、無線に関するトラブル発生時の状況確認などに役立ちます。

メンテナンス画面で 無線ステータス をクリックすると、次の画面が表示されます。

無線ステータスの表示内容については、パナソニックのサポートウェブサイト（http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/）を参照してください。

カメラへの接続者情報を知る

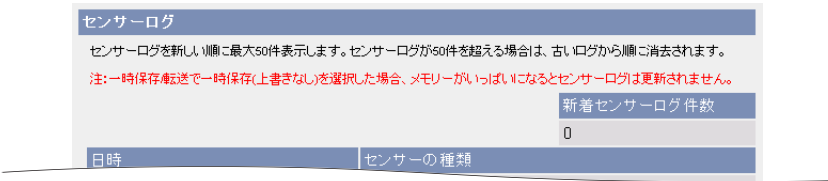
カメラに接続しているクライアントの情報を表示します。動画の現在の接続セッション数（最大20）と、現在の接続者情報（最大20件）がわかります。

メンテナンス画面で 接続者情報 をクリックすると、次の画面が表示されます。

カメラのメンテナンスを行う

センサーログを確認する

センサーログを表示します。新しい順に最大50件のセンサーログを表示します。センサーログが50件を超える場合は、古い順に消去されます。

メンテナンス画面で センサーログ をクリックすると、次の画面が表示されます。

● 電源を切ると、センサーログは消去されます。

項　目	内　　容
新着センサーログ件数	● 新着センサーログ件数を表示します。
日時	● センサー、動作検知が反応した日時を表示します。
センサーの種類	● 動作条件設定画面で設定した動作条件（センサー、動作検知）を表示します。

カメラを再起動する

メンテナンス画面で、カメラを再起動できます。カメラのACアダプターをコンセントから抜いて、もう一度入れることによっても再起動できます。

1 メンテナンス画面で 再起動 をクリックする

2 再起動 をクリックする

● 再起動時間は約1分（BL-C1）または約90秒（BL-C20）です。

再起動後、トップ画面が表示されます。

つづく

カメラのメンテナンスを行う

- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。
- センサーログは消去されます。

カメラをバージョンアップする

カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新できます。新機能や不正な攻撃に対するセキュリティに関する新しいファームウェアが公開されたときに、バージョンアップできます。

バージョンアップ中は、決して電源を切らないでください。

- 現在のファームウェアのバージョンはトップ画面またはステータス画面で確認できます。
- バージョンアップをすると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。
- センサーログは消去されます。

1 最新のファームウェアをパナソニックのサポートウェブサイトからダウンロードして、パソコンのハードディスクに保存する

- サポートウェブサイト：
  http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/support/

2 メンテナンス画面で バージョンアップ をクリックする

3 バージョンアップ をクリックする

つづく

● カメラが再起動します。

● 約1分後（BL-C1）または約90秒後（BL-C20）に、バージョンアップ画面が表示されます。

4 **参照..** をクリックする

● ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。

5 ファイル一覧からインストールしたいファイル（ファームウェアを保存したときのディレクトリ情報を含む）を選び **開く(O)** をクリックする

● 選んだファイルがファームウェアのファイル名入力欄に表示されます。新しいファームウェアのファイル名がわかっていれば、ファイル名入力欄に直接入力できます。

6 新しいファームウェアのファイル名を確認後、**バージョンアップ** をクリックする

● バージョンアップを中止する場合には、**取消** をクリックします。

● **取消** をクリックすると、バージョンアップせずにトップ画面に戻ります。

つづく

● バージョンアップの間、次のメッセージが表示されます。

● 終了すると自動的に再起動します。

● 再起動時間は約1分（BL-C1）または約90秒（BL-C20）です。
再起動後、トップ画面が表示されます。

7 最新のバージョンに更新されていることを、トップ画面で確認する

更新されたバージョン

● バージョンが更新されていれば、バージョンアップは完了しています。

現在のカメラ設定を設定ファイルに保存する

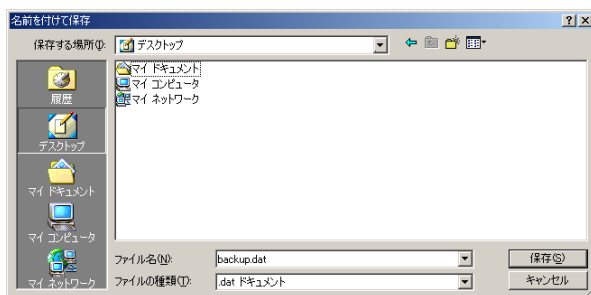
設定ファイルを作成し、パソコンに保存します。設定ファイルを作成しておけば、設定値復元機能を使い、カメラをその設定に戻せます。

保存された情報には個人情報や管理者情報が含まれており、第三者に漏えいすると不正アクセス、情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。自己の責任で適切に管理してください。

1 メンテナンス画面で 設定値保存 をクリックする

2 保存 をクリックする

3 ファイルのダウンロードダイアログボックスが表示されるので、保存 をクリックする

4 保存する場所を指定して 保存 をクリックする

● 指定した場所に設定ファイルが保存されます。

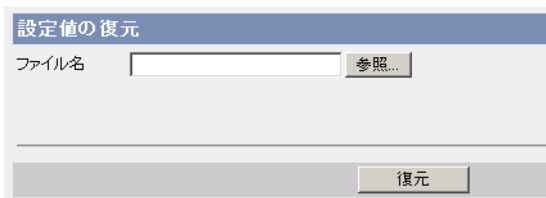
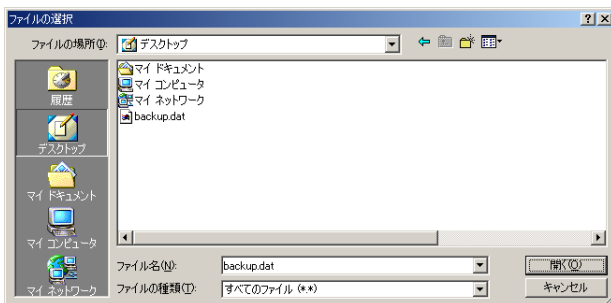
● ファイル名は変更できますが、拡張子（.dat）は変更できません。拡張子を変更すると、設定の復元ができなくなります。
● カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新したあとに設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元カメラと設定ファイルの復元先カメラにおいてファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに復元されない場合があります。

カメラ設定を設定ファイルから復元する

作成した設定ファイルを指定して、カメラをその設定に戻せます。カメラを工場出荷値に戻したとしても、この設定値復元機能を使うことにより、その設定に戻せます。

- 設定ファイルには、ネットワーク設定も保存されます。復元するときには、保存したときのネットワーク設定になります。
- カメラのファームウェアを最新のバージョンに更新したあとで設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元カメラと設定ファイルの復元先カメラにおいてファームウェアのバージョンが異なると、設定がカメラに復元されない場合があります。

1 メンテナンス画面で 設定値復元 をクリックする

2 参照... をクリックする

3 ファイル一覧から復元したいファイルを選び 開く をクリックする

- 選んだファイルがファイル名入力欄に表示されます。

4 設定ファイル名を確認して 復元 をクリックする

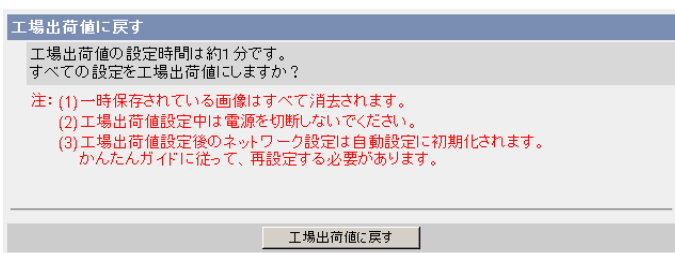
5 再起動 をクリックする

- カメラが再起動し、トップ画面が表示されます。

カメラ設定を工場出荷値に戻す

この機能を実行すると各設定内容を工場出荷値に戻せます。
工場出荷値に戻したいときなどにご使用ください。
(BL-C20のみ）ただし、無線LAN設定も工場出荷値に戻り、無線で接続できなくなります。その場合は、再度有線で接続したうえで、無線LAN設定を行ってください。
(☞ かんたんガイド)

1 メンテナンス画面で 工場出荷値に戻す をクリックする

2 工場出荷値に戻す をクリックする

- インジケーターが以下の動作をします。
  オレンジに点滅→消灯 (約5秒間)
- カメラのすべての設定値（ID、パスワード、IPアドレス、サブネットマスクを含む）を、工場出荷値に戻します。
- 「工場出荷値に戻す」を実行すると、ネットワーク設定は「自動設定」になります。かんたんガイドを参照して、設定し直してください。

実行中は、決して電源を切らないでください。

- 工場出荷値へ戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制（工場出荷値）に戻ります。24時間制で表示する場合は時計設定画面で設定し直してください。(☞ 45ページ)
- 工場出荷値は、122～125ページを参照してください。
- CLEAR SETTINGボタンを約1秒押すことによっても、工場出荷値に戻せます。(☞ 121ページ)
- 工場出荷値に戻すと、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。
- 工場出荷値に戻す作業は、約1分かかります。
- センサーログは消去されます。

サポート画面について

サポート
(1) ヘルプ
(2)☆ 無線ヘルプ
(3) 製品情報
(4) サポート情報

☆ BL-C20 のみの機能です。

[サポート]

(1)	ヘルプ	ヘルプ画面の表示
(2)	無線ヘルプ (BL-C20のみ)	無線ヘルプ画面の表示
(3)	製品情報	製品情報ページへのリンクの表示
(4)	サポート情報	サポート情報ページへのリンクの表示

ヘルプ画面を見る

カメラの「操作画面」の項目や機能についての説明を表示します。

サポート画面で ヘルプ をクリックすると、次の画面が表示されます。

[目次]

1. トップ
2. シングル
3. マルチ
4. 一時保存画像
5. サポート
6. ログイン

サポート画面について

無線ヘルプ画面を見る（BL-C20のみ）

カメラの「無線設定画面」の項目や機能についての説明を表示します。
サポート画面で 無線ヘルプ をクリックすると、次の画面が表示されます。

[目次]

1. 無線基本設定
2. 無線暗号化設定
3. 無線ステータス

「無線ヘルプ」項は、管理者としてログインするときのみ表示されます。

製品情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にある製品情報ページを参照できます。

サポート画面で 製品情報 をクリックするとURLが表示されるので、そのURLをクリックする。

インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

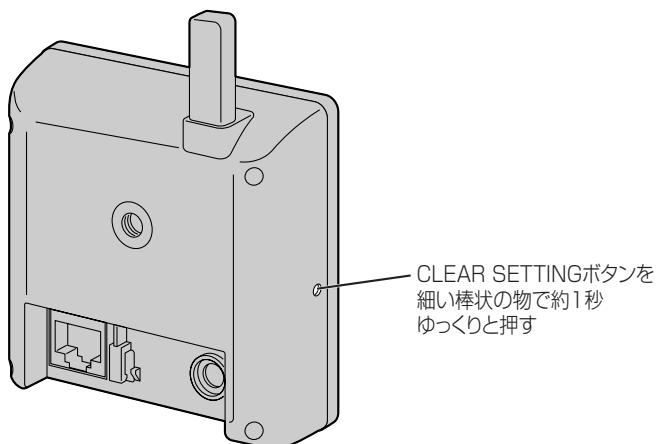
サポート情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にあるサポート情報ページ、または、みえますねっとサービスのウェブサイトを参照できます。

サポート画面で サポート情報 をクリックするとURLが表示されるので、参照したいウェブサイトのURLをクリックする。

インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

CLEAR SETTINGボタンについて

CLEAR SETTINGボタンはカメラの側面にあります。

工場出荷値に戻す

設定した値やパスワードはCLEAR SETTINGボタンを押すと、工場出荷値に戻せます。ユーザー名やパスワードを忘れて、カメラにアクセスできなくなったときなどにご使用ください。

（BL-C20のみ）ただし、無線LAN設定も工場出荷値に戻り、無線で接続できなくなります。その場合は、再度有線で接続したうえで、無線LAN設定を行ってください。(☞ かんたんガイド)

- 電源が入っているときにCLEAR SETTINGボタンを約1秒押しつづけてください。
- インジケーターが以下の動作をします。
  オレンジに点滅→消灯 (約5秒間)
  約1分後に設定した内容やパスワードは消去され、工場出荷値に戻ります。（下記おしらせ参照）
- インジケーターが緑点灯状態になるまで電源を切らないでください。

工場設定値に戻す作業は約１分かかります。その間は決して電源を切らないでください。

- 工場出荷値へ戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制（工場出荷値）に戻ります。24時間制で表示する場合は時計設定画面で設定し直してください。
  (☞ 45ページ)
- CLEAR SETTINGボタンを押すと、内部メモリーにある、一時保存画像はすべて消去されます。
- センサーログは消去されます。

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項　目			工場出荷値	設定が必要な場合	備　考
基本設定	ネットワーク	接続モード	自動設定	−	自動設定／Static設定／DHCP設定
		インターネット公開（自動設定のみ）	非公開	−	−
		セットアップソフトウェアからの設定（Static／DHCP設定のみ）	有効	−	−
		ポート番号（Static／DHCP設定のみ）	80	−	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		IPアドレス（Static設定のみ）	192.168.0.253	Static設定の場合	※1
		サブネットマスク（Static設定のみ）	255.255.255.0	Static設定の場合	※1
		ホスト名（DHCP設定のみ）	設定なし	DHCPを使用する場合（必須ではない）	0〜63文字※4
		デフォルト ゲートウェイ（Static／DHCP設定のみ）	設定なし	ゲートウェイを使用する場合	※1
		DNSサーバーアドレス1, DNSサーバーアドレス2（Static／DHCP設定のみ）	設定なし	DNSを使用する場合	※1
		通信帯域制限（Mbps）	制限しない	−	0.1、0.2、0.3、0.5、1、制限しない
		接続タイプ	自動	−	自動、100 Mbps/全2重、100 Mbps/半2重、10 Mbps/全2重、10 Mbps/半2重
	無線 **(BL-C20のみ)**	通信モード	802.11b/g	−	802.11b、802.11b/g、802.11g専用
		（通信チャンネル）	自動	−	−
		SSID	NetCam****	−	0〜32文字
		（通信速度）	自動	−	−
		暗号化方式	暗号化なし	−	暗号化なし／WEP方式
		（認証方式）	Open System	−	−
		WEPキー1〜4	「英数13文字 128 bit」の設定なし	−	−
	UPnP™	自動ポートフォワーディング	無効	−	−
		カメラへのショートカット **(BL-C1のみ)**	有効	−	−

つづく

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項　目			工場出荷値	設定が必要な場合	備　考
基本設定	ダイナミックDNS	ダイナミックDNS設定	使用しない	–	みえますねっと/ユーザー指定ダイナミックDNS/使用しない
		ダイナミックDNSサーバーURL	設定なし	ユーザー指定ダイナミックDNSを利用する場合	半角1~255文字※8
		更新時間	10分		起動時のみ、10分、30分、1時間、3時間、6時間、12時間、24時間
		ユーザー名	設定なし		半角0~63文字※9
		パスワード	設定なし		半角0~63文字※9
	時計	日付	–	–	初期化されない
		表示切替	12時間制	–	12時間制／24時間制
		時刻	–	–	初期化されない
		自動調整を行う	チェックなし	NTPサーバーによる時計の自動調整を利用する場合	–
		NTPサーバーのアドレスまたはホスト名	設定なし	NTPサーバーによる時計の自動調整を利用する場合	IPアドレスは※1 ホスト名は1~255文字 ※4
		タイムゾーン	GMT+09:00 日本	–	変更の必要なし
	カメラ	カメラ名	NetworkCamera	必須項目	半角1~15文字、全角1~7文字 ※5
		ホワイトバランス	自動	–	自動／屋内／蛍光灯(白色)／蛍光灯（昼白色）／屋外
		電源周波数	50 Hz	–	50 Hz、60 Hz
		カラーナイトビューモード	許可	–	許可／禁止
ユーザー設定	管理者	認証設定	未登録ユーザーを禁止	–	–
		ユーザー名	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード再入力	設定なし	管理者を設定する場合	6~15文字 ※3
	一般ユーザー	一般ユーザー名一覧	設定なし	–	–
		ユーザー名	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		パスワード再入力	設定なし	一般ユーザーを設定する場合	6~15文字 ※3
		機能許可	レベル2	–	レベル1、レベル2

つづく

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項　目			工場出荷値	設定が必要な場合	備　考
一時保存／転送	動作条件	状態	無効	–	–
		動作条件	タイマー	–	タイマー／センサー／動作検知
		動作時間	常時	–	–
		画像設定　解像度（ドット）	320×240	–	160×120、320×240、640×480
		画質	標準	–	画質優先、標準、動き優先、携帯電話用
		間隔指定	1秒間に1枚	–	1時間に1枚～1秒間に15枚
		無検知時間	なし	センサー、動作検知を選択する場合	なし、10、30（秒）、1、3、5、10（分）
		転送条件	一時保存（上書きなし）	–	–
		通知	なし	センサー、動作検知を選択する場合	–
	動作検知感度	しきい値	左端から3つ目	–	–
		感度	中央	–	–
	センサーログ通知	動作設定	通知しない	動作条件設定に、センサー、または、動作検知を設定する場合	通知しない/通知する(新着センサーログがない場合：通知しない)/通知する(新着センサーログがない場合：通知する)
		日時設定	チェックあり		–
		通知時間	午後0時0分		午前/午後、0～11、0/10/20/30/40/50
		センサーログ通知先設定	設定なし		–
		認証方法	認証なし		認証なし、POP before SMTP認証、SMTP認証
		ポート番号	25、110		※2
		件名	センサーログ		–
その他の設定	画像表示	シングル画面の解像度（ドット）	320×240	–	320×240、640×480
		シングル画面の画質	標準	–	画質優先、標準、動き優先
		シングル画面の画像更新間隔	動画	ネットワーク上のデータを減らすとき	3、5、10、30、60（秒）、動画
		マルチ画面の解像度（ドット）	320×240	–	160×120、320×240
		マルチ画面の画質	標準	–	画質優先、標準、動き優先
		マルチ画面の画像更新間隔	動画	–	3、5、10、30、60（秒）、動画
		動画表示時間	制限しない	–	10、30（秒）、1、5、10、30、60（分）、制限しない
		静止画更新間隔	30秒	–	3、5、10、30、60（秒）

つづく

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

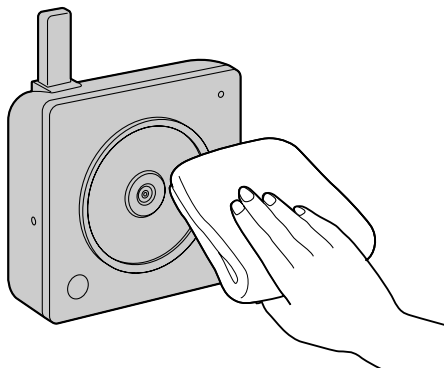
項目			工場出荷値	設定が必要な場合	備考
その他の設定	画像表示	バナー表示設定	チェックなし	バナーを表示させるとき	−
		表示対象	全ユーザー表示	−	全ユーザー表示、管理者のみ表示、一般ユーザーのみ表示
		画像URL	設定なし	−	半角1～127文字※4
		リンク先URL	設定なし	−	半角0～127文字※4
	マルチ画面	マルチ画面設定	No.1に自カメラ登録	−	−
		状態	有効	マルチ画面の設定をする場合	−
		IPアドレスまたはホスト名	selfcamera	マルチ画面の設定をする場合	IPアドレスは ※1 ホスト名は1～255文字 ※6
		ポート番号	− −	マルチ画面の設定をする場合	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		表示名	BL-C1（BL-C1） BL-C20（BL-C20）	マルチ画面の設定をする場合	半角1～15文字、 全角1～7文字 ※7
		カメラの移動	No.1をNo.1へ	登録済みカメラの順序を入れ替える場合	No.1－No.12
	公開時間	公開時間設定	常時	−	−
	インジケーター	インジケーター制御	点灯（常時）	−	点灯（常時）／点灯（アクセス時）／点灯（人感センサー反応時）／消灯（常時）
		おしらせランプ制御	点灯(常時)	−	点灯（常時）／点灯（アクセス時）／点滅（検知後約20秒間）／点滅（検知後消灯ボタンを押すまで）／消灯（常時）
	相手先リスト	簡易ビジュアルコミュニケーション相手先リスト	設定なし	簡易ビジュアルコミュニケーションで接続するカメラを追加登録する場合	−
		カメラの入れ替え	No.1とNo.1を	登録済みカメラの順序を入れ替える場合	No.1－No.10

※1　192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。
　　（ただし、“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません）
※2　設定は1～65535の範囲です。
※3　半角英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["] [']、[&]、[<]、[>]、[:] は使えません。
※4　半角英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
※5　全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。
　　半角は、英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
※6　半角は、英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>] は使えません。
※7　全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。
　　半角は、英数字、記号が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:] は使えません。
※8　半角英数字が使えます。(☞ 146ページ) ただし、[スペース]、["]は使えません。 先頭文字列がhttp://でない場合はエラーとなります。
※9　半角英数字が使えます。(☞ 146ページ) ただし、["]、[:]は使えません。

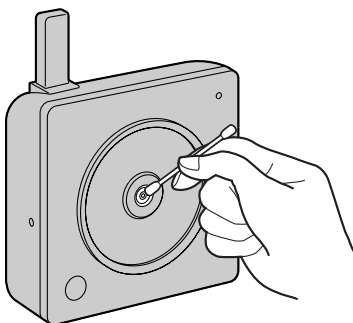
お手入れについて

お手入れは、ACアダプターをコンセントから抜いて、カメラの電源を切ってから行ってください。

本体

柔らかい乾いた布でふいてください。

- アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の恐れがあります。）
- 人感センサーが汚れていると温度変化を検知しにくくなることがありますので、きれいにふいておいてください。

レンズ

レンズに汚れがつくと、画質が悪くなる原因になります。綿棒で、ゴミ、ホコリなどをふきとってください。

- レンズに直接触れないでください。指紋がついてしまうと、焦点がぼける原因となります。

パソコンのIPアドレスを設定する

下記の手順でパソコンのIPアドレスを設定できます。

1 パソコンのTCP/IPプロパティの画面を開く

- TCP/IPのプロパティの開きかたは、パソコンのOSによって下記のように異なります。

OS	手順
Windows XP	[スタート]（→［設定］）→［コントロールパネル］→［ネットワーク接続］→［ローカルエリア接続］→［プロパティ］→［インターネットプロトコル (TCP/IP)］を選択→［プロパティ］→［次のIPアドレスを使う］
Windows 2000	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ネットワークとダイヤルアップ接続］→［ローカルエリア接続］→［プロパティ］→［インターネットプロトコル (TCP/IP)］を選択→［プロパティ］→［次のIPアドレスを使う］
Windows Me、Windows 98SE	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］→［TCP/IP］→［プロパティ］→［IPアドレス］→［IPアドレスを指定］

- Windows XP、Windows 2000は、アドミニストレーターが行ってください。アドミニストレーターでないと、TCP/IPプロパティの画面を開けません。

2 「IPアドレスを指定する」を選び、IPアドレス、サブネットマスクを入力する

3 OK をクリックする

- Windows Me、Windows 98SEは、TCP/IPのプロパティを有効にするためにパソコンの再起動が必要になります。

セットアップソフトウェアを使う

セットアップソフトウェアを使うと、次のことができます。

- 同じネットワークに接続されているカメラを検索し、IPアドレス、ポート番号を知ることができる。
- カメラを自動で設定する。
- 手動設定でカメラ名を設定する、また、StaticまたはDHCP設定にする。
- カメラの設定画面を表示する。

■ カメラを検索する

1 かんたんガイド中の「カメラを接続しよう」にある図のように、イーサネットケーブルを使ってカメラを接続する

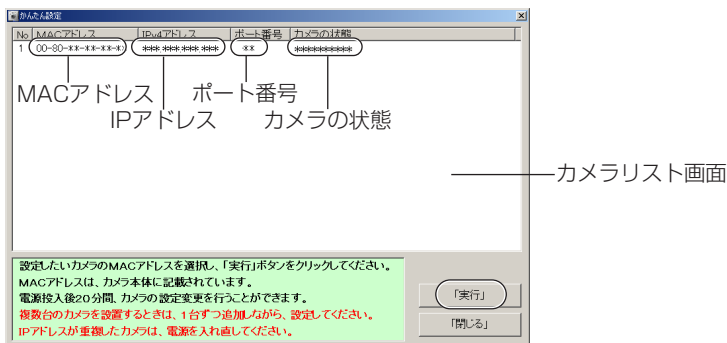
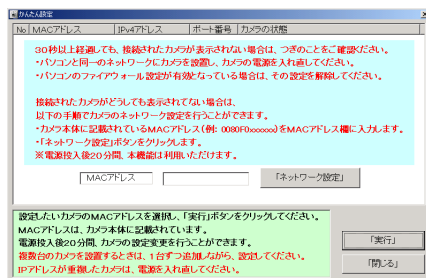
2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

(設定画面が表示されない場合は、セットアップCD-ROM内の "**Setup.exe**" ファイルをダブルクリックしてください)

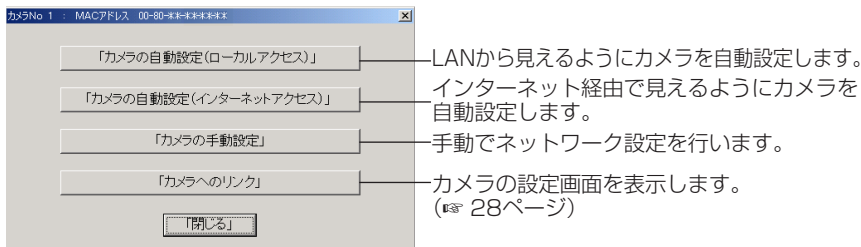
3 **カメラセットアップ** をクリックする

- 次のダイアログが表示される場合は、 **ブロックを解除する** をクリックしてください。

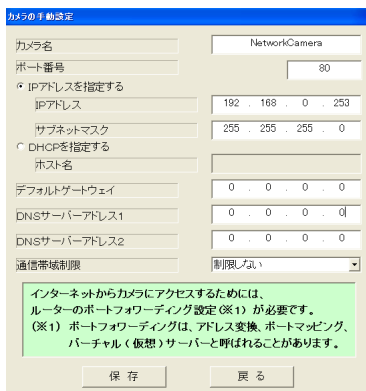
つづく

● 検索したいカメラのMACアドレスと同じものを次のカメラリスト画面で探すことで、IPアドレス、ポート番号を知ることができます。

● 複数台のカメラを検索している場合は、カメラの背面にあるラベルに書かれたMACアドレスで照合できます。
● パソコンのファイアウォール設定の影響でカメラリスト画面上にカメラが表示されないことがあります。そのようなときは、以下の画面上でMACアドレスを入力すると、カメラ設定を行えます。(☞ 131ページ)

■ カメラを設定する

1 前ページのカメラリスト画面で設定したいカメラを選び、 **実行** をクリックする

2 それぞれのボタンをクリックして、実行する

「カメラの手動設定」を行うとき

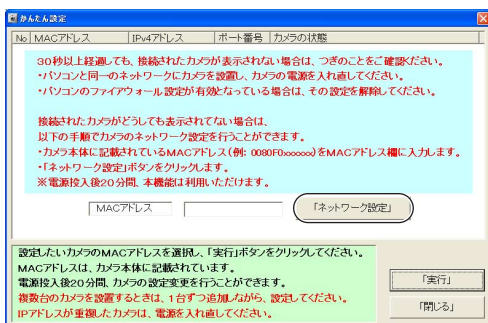
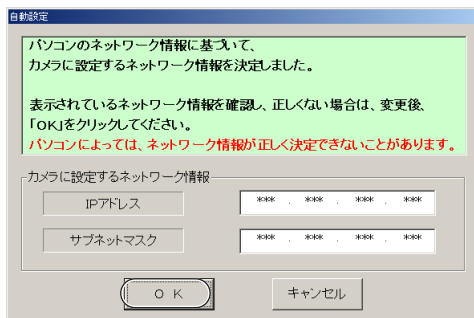
32～34ページを参照して設定項目を設定したあと、 **保存** をクリックする

- 電源を入れてから20分以上経過したカメラは設定できません。設定できない場合は、カメラを再起動してください。(☞ 112ページ)

- "カメラの設定が完了しました。"と表示されたら、 **閉じる** をクリックして手動設定を完了する

3 すべてのセットアップソフトウェア設定画面を閉じて、終了する

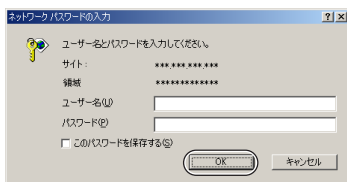
MACアドレスを使ってカメラを設定する

パソコンのファイアウォール設定などにより、カメラリスト画面にカメラが表示されない場合があります。ファイアウォールを解除できない場合は、カメラのMACアドレスを使って設定できます。

1 カメラのMACアドレスを入力し、「ネットワーク設定」をクリックする

2 表示されているネットワーク情報を確認し、 OK をクリックする

● 約1分後、管理者設定画面が表示されます。

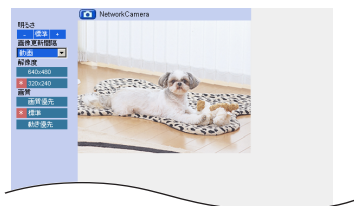
3 ユーザー名とパスワードを入力し、 登録 をクリックする

つづく

4 ユーザー名とパスワードを入力し、 OK をクリックする

5 カメラを使用する地域に合った電源周波数※を設定する

※ 電源周波数は、東日本50 Hz、西日本60 Hzです。

6 シングル画面が表示されれば、設定は完了しています

- セキュリティ警告画面が表示された場合は、 はい(Y) をクリックする。(☞ 10ページ)
- Microsoft Windows XP Service Pack 2をご使用の場合のセキュリティ警告画面については、11ページを参照してください。

ウェブブラウザのインターネット一時ファイル設定を「ページを表示するごとに確認する」にしてください。(☞ 137ページ)設定しない場合、古い画像が表示されるなどの現象が発生することがあります。

シングル画面については、8ページを参照してください。

7 (BL-C20のみ) 無線設定をする (☞ 35ページ)

8 インターネット経由で見えるようにカメラを設定する

● UPnP™対応ルーターに接続している場合

① 自動ポートフォワーディングを有効にする（☞ 38ページ）

② ダイナミックDNSサービスに登録する（☞ 40ページ）

③ インターネット経由でカメラにアクセスする（☞ 7ページ）

アクセスできないときは、「ご使用の前に／困ったときには」の26～28ページを参照してください。

● UPnP™非対応ルーターに接続している場合

「ご使用の前に／困ったときには」の21ページを参照し、設定してください。

パソコンをセットアップする

プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

- プロキシサーバーを使用していないときは、以下の設定は必要ありません。
- プロキシサーバーを使用している場合は、次の設定が必要になります。
  - LAN (ローカルエリアネットワーク) 内に設置されたカメラと通信するときには、プロキシサーバーを使用しないようにウェブブラウザの設定を変更することをおすすめします。
  - 企業内のファイアウォールを備えたプロキシサーバーでは、カメラに直接接続できない場合があります。
    上記の場合には、ネットワークやカメラの動作に影響が出ないように、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。

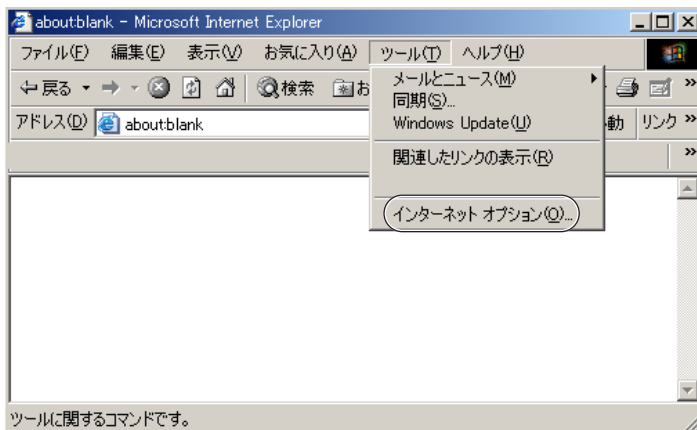
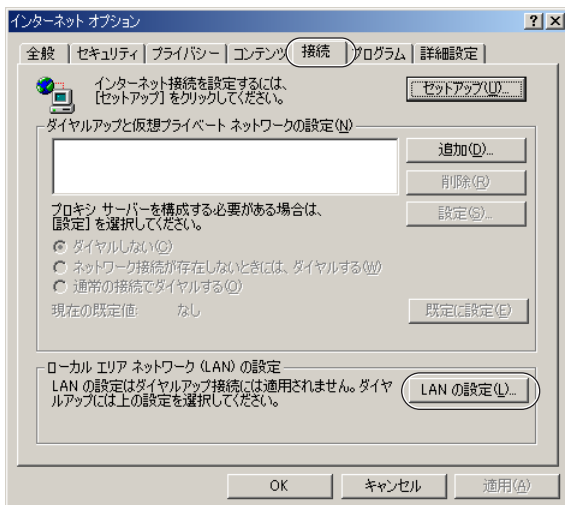
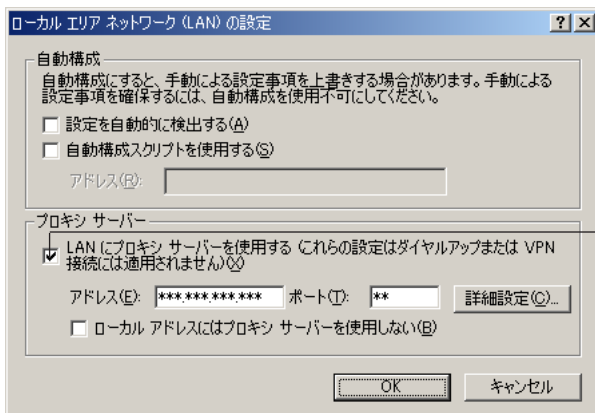
- プロキシサーバーは、インターネット接続されたネットワーク内のセキュリティ確保のために一般的に使用されます。
- プロキシサーバーを経由してカメラを使用すると、何らかの問題が生じる場合があります。設置の前に、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。
- プロキシサーバーを経由してカメラを使用する場合、画像更新速度（フレームレート）が低下する場合があります。

設定のしかた

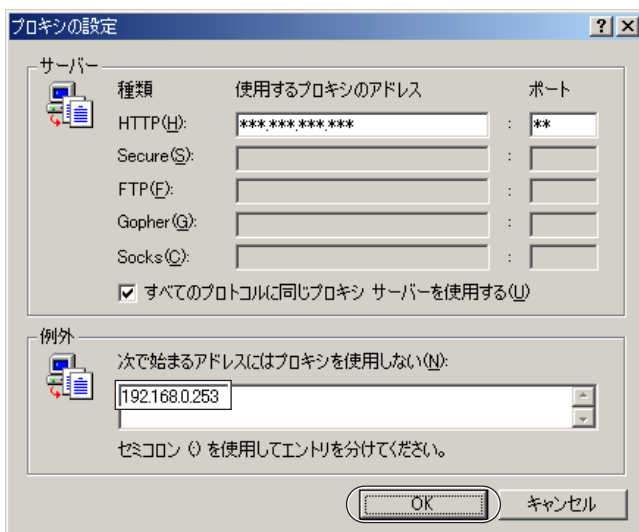
以下の手順は、Internet Explorer 6.0を使ったときのものです。

1 ウェブブラウザを起動する

2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

つづく

3 「接続」タブをクリックし、 **LANの設定(L)...** をクリックする

4 「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックボックスがチェックされているかどうかを確認する

- チェックボックスがチェックされていなかったら、設定をせずに **キャンセル** をクリックし設定を終了してください。
- チェックボックスがチェックされていたら、 **詳細設定(C)...** をクリックしてください。
- プロキシの設定ダイアログボックスが表示されます。

つづく

5 カメラの "IPアドレス" を「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N)：」の入力欄に入力する　(例: 192.168.0.253)

6 OK をクリックする

マイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示するためのUPnP™設定（BL-C1のみ）

パソコンのマイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示させるために、Windows コンポーネントを追加する必要があります。下記の手順に従い、UPnP™（ユニバーサル プラグ アンド プレイ）を有効にしてください。

OS	手順
Windows XP	［スタート］（→［設定］）→［コントロール パネル］→［プログラムの追加と削除］→［Windows コンポーネントの追加と削除］→［ネットワーク サービス］を選択→［詳細］→［ユニバーサル プラグ アンド プレイ（UPnP ユーザーインターフェース)］にチェック→［OK］→［次へ］→完了
Windows Me	［スタート］→［設定］→［コントロール パネル］→［アプリケーションの追加と削除］→［Windows ファイル］タブ→［通信］を選択→［詳細］→［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］にチェック→［OK］→［OK］→［再起動］→完了

この機能は使用しているパソコンのOSがWindows XPまたはWindows Meのときのみ使用できます。

ウェブブラウザ（Internet Explorer）のインターネット一時ファイル設定

古いカメラ画像が表示されるなどの現象が起こる場合がありますので、以下の手順で設定を行う必要があります。

> [ツール]→[インターネット オプション]→[全般]タブ→インターネット一時ファイル欄の[設定]→保存しているページの新しいバージョンの確認欄で[ページを表示するごとに確認する]にチェック→OK→OK→完了

用語解説

英字

ActiveXコントロール

米国のMicrosoft社が開発したアプリケーション開発のための技術であるActiveXの主要技術の1つで、ウェブブラウザでアクセスしたサーバーからプログラムをダウンロードし、起動できるという特徴をもっています。本機能により、通常のウェブブラウザがもたない機能を追加したウェブサイトの作成が可能になります。カメラでは、Internet Explorerで動画(MotionJPEG)を表示するために、ActiveXコントロールを使用しています。

CMOSセンサー
(Complementary Metal-Oxide Semiconductor Sensor)

CCDと並ぶ固体撮像素子の一種です。各画素を構成するフォトダイオードに、光量に応じた信号電荷が蓄積され、その信号電荷は、順に画素ごとに配置されたMOSスイッチによって1フレームごとに読み出されます。CCDと比較して消費電力が低い特徴があります。

CSMA/CA方式
(Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance)

無線LANに用いられているアクセス制御方式の1つです。

DHCP
(Dynamic Host Configuration Protocol)

各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、ネットワークに関連した情報 (IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど) を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

DNS
(Domain Name System)

ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前(ドメイン名)をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.jp”などがあります。

FTP
(File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコル。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POP3と並んで頻繁に利用されているプロトコルです。

つづく

用語解説

IEEE 802.11b	IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4 GHz帯を使用する最高11 Mbps※1のネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。
IEEE 802.11g	IEEE(米国電気電子学会)の無線LANの規格です。802.11gは、IEEE 802.11bと互換性を持ち、同じ2.4 GHz帯を使いながら、最大で54 Mbps※1のデータ通信が行えます。本製品では、IEEE 802.11bと互換性のあるモードを802.11b/gと記載し、IEEE 802.11bと互換性のないモードを802.11g専用と記載しています。
IPアドレス	IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器(端末)では、世界中でユニークな(単一な)IPアドレスを割り振っておく必要があります。
JPEG (Joint Photographic Experts Group)	ITU-TS (国際電気通信連合：旧CCITT)とISO (国際標準化機構)で定めたカラー静止画の圧縮、伸張を定める標準規格。静止画を1/10 ～ 1/100に圧縮できます。
LAN (Local Area Network)	フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。
MAC アドレス (Media Access Control Address)	LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CC といった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。
Motion JPEG	静止画であるJPEG画像を高速で圧縮・伸張処理し、連続的に表示して動画のように見せる技術です。
NTPサーバー (Network Time Protocol)	正確な日付・時刻をネットワークにより提供するサーバーのことです。

※1 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

つづく

POP3
(Post Office Protocol Version 3)

インターネットやLANで、Eメールを受信するためのプロトコルです。クライアントが、メールサーバーからEメールを受信する際に用いられ、認証機能をもちます。この認証機能をSMTPでEメール送信する場合に、利用するメールサーバーもあります（POP before SMTP)。

SMTP
(Simple Mail Transfer Protocol)

インターネットやLANでEメールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でEメールの送受信をしたり、クライアントがサーバーにEメール送信する際に用いられます。

SMTP認証
(Simple Mail Transfer Protocol Authentication)

送信メールサーバー（SMTP）で、ユーザーIDとパスワードによってユーザー認証を行います。送信メールサーバー（SMTP）が対応している必要があります。SMTP認証には、PLAIN方式、LOGIN方式、CRAM-MD5方式があります。

SSID
(Service Set Identifier)

無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。「ESSID」とも言います。半角英数字記号1～32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。)

TCP/IP
(Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略です。ネットワークプロトコルの1つです。UNIXワークステーションおよびインターネットにおける標準プロトコルです。

Tナビ
(T-navi)

ブロードバンド回線を使ったデジタルテレビ向けの生活情報ネットワーク・サービスです。

UPnP
(Universal Plug and Play)

UPnP™は、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnP™に対応するアプリケーションには、MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降などがあります。
UPnP™ Forumによって仕様が策定されています。

URL
(Uniform Resource Locator)

インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。

つづく

用語解説

WEPキー

無線通信における暗号化技術を意味します。第三者によるデータの傍受を防ぐために、送信パケットを暗号化することでセキュリティを高める技術です。

WEPキーサイズ

64/128/152 bitの暗号化方式が選択できます。
備考：暗号化は、64 bit、128 bit、152 bitの順でセキュリティ強度が高くなります。逆に、実質の通信速度は、なし、64 bit、128 bit、152 bitの順で遅くなります。

WEP認証方式

IEEE802.11規格では､Open SystemとShared Keyの､2つの認証サービスをサポートしています。

xDSLモデム

アナログ電話用の1対の銅線を使って、高速なデータ通信を行うために、ADSL技術が開発されました。そのほかの用途や、最大転送レートなどに応じて開発されたいくつかの派生的な技術を総称してxDSLと呼びます。それらをインターネットに接続するための装置です。

あ

イーサネット
(Ethernet)

Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

イーサネットハブ

10Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。
8ポートや4ポートなどポート数はさまざまです。

インストール

ハードウェアやソフトウェアをシステムに新しく組み込むことです。たとえば拡張カードを追加したり、OSなどの新しいソフトウェアをシステムに組み込むときに用いられます。

インターネット

地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークです。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行っています。

ウェブブラウザ

ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

つづく

か

クロスケーブル
イーサネットハブなどを介さず直接パソコン同士を1対1で接続できるように作られたイーサネットケーブルの種類です。

グローバルアドレス
インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIPアドレス。インターネット上の住所に相当するもので、インターネット通信の際には必ず使用される。グローバルアドレスはIANA(internet assigned numbers authority)が一元的に管理し、各国のNIC(日本ではJPNIC)プロバイダーなどの各組織に割り振られる。

ケーブルモデム
CATVの回線を使って、インターネットに接続するための装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常のモデムとは異なり、パソコンとはイーサネットを通じて接続します。

さ

サブネットマスク
IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

人感センサー
人感センサーとは、人や動物などの温度をもつものから自然に放射されている赤外線による温度変化を検知するセンサーです。焦電センサーとも呼ばれています。

ストレートケーブル
通常は、パソコンとイーサネットハブを接続するためのケーブルの種類です。

全二重
独立した送信チャンネルと受信チャンネルを用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。「フルデュプレックス」とも言います。

た

ダイナミックDNS
(Dynamic Domain Name System)
DNS(Domain Name System)サーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。これによりDNSサーバーの情報更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークのオーバーヘッドを少なくできます。

つづく

ダウンロード	遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。
デフォルトゲートウェイ	内部ネットワークから外部のパソコンへアクセスするために使用する窓口となるルーターなどの機器を意味します。送信先のIPアドレスに特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイにデータが送信されます。
動的グローバルアドレス	動的グローバルアドレスとは、固定ではなく随時変化するグローバルアドレスを意味します。
ドメイン	インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

な

ネットマスク	「サブネットマスク」を参照。
ネットワーク	情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。

は

半二重	1つの通信チャンネルを使用して、送信と受信を切り替えながら通信する方式のことです。「ハーフデュプレックス」とも言います。
ピア・ツー・ピア (Peer to Peer)	ネットワークに接続されたコンピューター同士が対等（Peer）に通信する方式です。それぞれのコンピューターが、サーバーとクライアントの役割をかねます。
ファイアウォール	インターネットを利用する際のセキュリティの1つです。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

つづく

用語解説

ファームウェア

本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。

プライベートアドレス

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベートアドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることが可能です。ただし、プライベートアドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバルアドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。プライベートアドレスは、下の表のようにクラスA、クラスB、クラスCの3段階に分かれています。ローカルネットワークの規模に応じてクラスを選び、そのクラスのIPアドレスの範囲の中でIPアドレスを設定してください。

クラス	サブネットマスク	プライベートアドレス（この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる）
クラスA	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ～ 10. 255. 255. 254
クラスB	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ～ 172. 31. 255. 254
クラスC	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ～ 192. 168. 255. 254

フレームレート

表示や動画の再生において、単位時間に何回画面を書き替えられるかを表す指標です。

プロキシサーバー

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

プロトコル
(Protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のコンピューターなどでデータを交換する際の通信規約（約束事）のことです。インターネットでは「TCP/IP」というプロトコルが基盤になっており、そのうえでさらに「http」や「ftp」などの用途別のプロトコルに従って、情報の送受信が行われています。

つづく

ポート番号

TCPやUDPで、サービス(アプリケーションの種類)を区別するために使われる番号。たとえば、EメールのSMTPは25、HTTPは80が一般的に用いられます。

ホワイトバランス

被写体の白色部分を基準にして、全体の色調を合わせる機能を意味します。白色を再現できれば、撮影する場所の光の種類によって自然な色合いを再現できます。

ら

ルーター

異なるネットワーク同士を相互接続するネットワーク機器です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

使用できる半角文字について

<table>
<tr><th colspan="3">半角英数字、記号</th></tr>
<tr><td>スペース</td><td>@</td><td>`</td></tr>
<tr><td>!</td><td>A</td><td>a</td></tr>
<tr><td>"</td><td>B</td><td>b</td></tr>
<tr><td>#</td><td>C</td><td>c</td></tr>
<tr><td>$</td><td>D</td><td>d</td></tr>
<tr><td>%</td><td>E</td><td>e</td></tr>
<tr><td>&</td><td>F</td><td>f</td></tr>
<tr><td>'</td><td>G</td><td>g</td></tr>
<tr><td>(</td><td>H</td><td>h</td></tr>
<tr><td>)</td><td>I</td><td>i</td></tr>
<tr><td>*</td><td>J</td><td>j</td></tr>
<tr><td>+</td><td>K</td><td>k</td></tr>
<tr><td>,</td><td>L</td><td>l</td></tr>
<tr><td>-</td><td>M</td><td>m</td></tr>
<tr><td>.</td><td>N</td><td>n</td></tr>
<tr><td>/</td><td>O</td><td>o</td></tr>
<tr><td>0</td><td>P</td><td>p</td></tr>
<tr><td>1</td><td>Q</td><td>q</td></tr>
<tr><td>2</td><td>R</td><td>r</td></tr>
<tr><td>3</td><td>S</td><td>s</td></tr>
<tr><td>4</td><td>T</td><td>t</td></tr>
<tr><td>5</td><td>U</td><td>u</td></tr>
<tr><td>6</td><td>V</td><td>v</td></tr>
<tr><td>7</td><td>W</td><td>w</td></tr>
<tr><td>8</td><td>X</td><td>x</td></tr>
<tr><td>9</td><td>Y</td><td>y</td></tr>
<tr><td>:</td><td>Z</td><td>z</td></tr>
<tr><td>;</td><td>[</td><td>{</td></tr>
<tr><td><</td><td>¥</td><td>|</td></tr>
<tr><td>=</td><td>]</td><td>}</td></tr>
<tr><td>></td><td>^</td><td>~</td></tr>
<tr><td>?</td><td>_</td><td></td></tr>
</table>

ファイルサイズと一時保存枚数について

カメラ画像のファイルサイズとカメラ内部のメモリーに一時保存できる枚数との関係を表にしています。設定の参考にしてください。

ファイルサイズについては、最大値で記載しています。

解像度	項目	スナップショット	画質優先	標準	動き優先	携帯電話用
640×480（ドット）	ファイルサイズ	約60 KB	約50 KB	約33 KB	約20 KB	
	一時保存枚数		約80枚	約120枚	約200枚	
320×240（ドット）	ファイルサイズ	約30 KB	約25 KB	約16 KB	約8 KB	約8 KB
	一時保存枚数		約160枚	約250枚	約500枚	約500枚
160×120（ドット）	ファイルサイズ	約10 KB	約7 KB	約5 KB	約3 KB	約3 KB
	一時保存枚数		約570枚	約800枚	約1330枚	約1330枚

一時保存転送の枚数について

最大保存枚数は、解像度や画質により変わります。動作条件の設定を複数「有効」に設定しているとき、「一設定あたりの最大保存枚数」は、有効設定数が１つの場合の最大保存枚数を有効設定数で割った値です。サーバーやネットワークの障害で画像が転送されない場合も画像は内部メモリーに保存されるため、FTP転送やEメール転送に設定している場合でも同様です。

例）解像度320 x 240、標準画質の場合：
　　一設定あたりの最大保存枚数=約250（上表参照）÷有効設定数

有効設定数	1	2	3	4	5
一設定あたりの最大保存枚数	約250枚	約120枚	約80枚	約60枚	約50枚

つづく

ファイルサイズと一時保存枚数について

■ 動作条件をセンサー、または、動作検知に設定し、間隔設定で「検知前の画像を一時保存／転送する」と「検知後の画像を一時保存転送する」の両方を設定しているとき

● 一時保存方法として「一時保存（上書きあり）」に設定する場合
保存できる検知前画像の枚数は、「一設定あたりの最大保存枚数」の3分の1です。

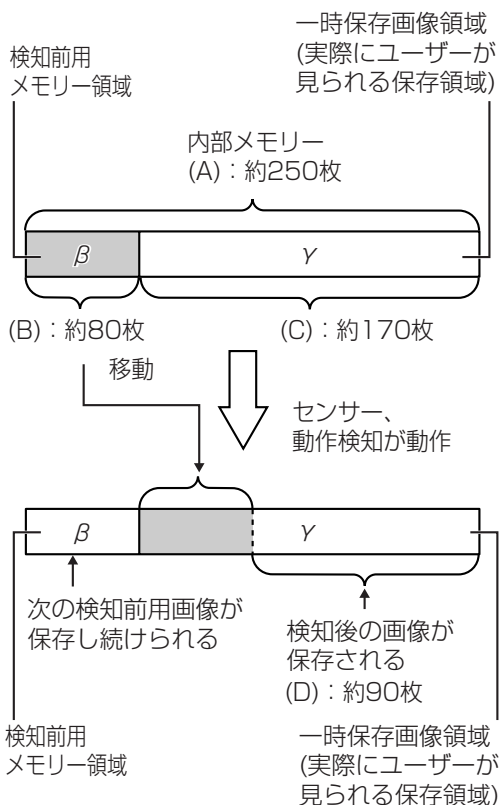
例）解像度320 x 240、標準画質の場合

有効設定数	1	2	3	4	5
一設定あたりの最大保存枚数（A）	約250枚	約120枚	約80枚	約60枚	約50枚
検知前に一時保存／転送する画像の最大保存枚数（B）【（A）の約1/3】	約80枚	約40枚	約25枚	約20枚	約15枚
実際に保存できる枚数（C）	約170枚	約80枚	約55枚	約40枚	約35枚

つづく

ファイルサイズと一時保存枚数について

例）一設定あたりの最大保存枚数(A)：約250枚、
検知前に一時保存／転送する画像の枚数(B)：約80枚のとき

- 内部メモリーのうち、「検知前に一時保存／転送する画像」の指定枚数分（B：約80枚）を検知前用メモリー領域(β）として確保し、指定した間隔で画像を保存し続けます。
- センサーや動作検知が動作すると、検知前用メモリー領域(β)に保存されている画像は、ユーザーが実際に見られる一時保存画像メモリー領域(γ)へ移動し、一時保存画像メモリー領域(γ)の空き領域には検知後の画像が保存され続けます。
- 検知前用メモリー領域(β)は、一時保存画像メモリー領域としては割り当てられず、次の検知前画像を保存し続けます。

仕様

ホームネットワークカメラ

項　目	仕　様
撮像素子	1/4インチ　32万画素　CMOSセンサー
対応照度	4～10,000ルクス　（カラーナイトビュー許可時） 10～10,000ルクス（カラーナイトビュー禁止時）
ホワイトバランス	オート／マニュアル
調整可能部分	明るさ
焦点	固定焦点
フォーカス範囲	0.3 m～∞
レンズ　F No.	F2.8
画角	左右 53°、上下 41°
露光制御	オート

その他の仕様

項　目	仕　様
画像圧縮方式	JPEG (3レベル)
画像解像度	640×480ドット、320×240ドット（工場出荷値）、160×120ドット
一時保存画像※1	約250枚（320×240ドット）画質標準
フレームレート※2	最大7.5枚／秒（640×480ドット） 最大15枚／秒（320×240ドット、160×120ドット）
サポートプロトコル	TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、DHCP、DNS、ARP、ICMP、POP3、NTP、UPnP™
画像転送条件	人感センサー、動作検知、タイマー設定：曜日 / 時 / 分
画像転送方法	SMTP※3／FTP

※1 一時保存画像の枚数は、被写体により変わります。

※2 フレームレートは、被写体、画質、ネットワーク環境やパソコンの性能で変わります。

※3 POP before SMTP認証、SMTP認証（PLAIN、LOGIN）に対応しています。SMTP認証（CRAM-MD5）には対応していません。

つづく

仕様

その他の仕様

項　目	仕　様
インターフェース	■ 有線 10／100Base-T(X) イーサネット×1ポート コネクター形状：8ピンモジュラー（RJ-45） ■ 無線 **（BL-C20のみ）** IEEE 802.11b/g (内蔵) ※ インフラストラクチャーモードのみサポートしています。アドホックモードはサポートしていません。
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー
センサー検知範囲	水平方向約67 ° 、垂直方向約58 ° 、距離約5 m （検知範囲の温度20 ℃のとき）
インジケーター	電源表示用 (ネットワークのリンクと動作表示用)
外形寸法 （幅、高さ、奥行）	■ BL-C1 約85 mm x 約85 mm x 約25 mm（突起部除く本体のみ） ■ BL-C20 約85 mm x 約85 mm x 約35.5 mm（突起部除く本体のみ）
質量	■ BL-C1　：約100 g（スタンド除く） ■ BL-C20：約165 g（スタンド除く）
電源	■ BL-C1 専用ACアダプター　(品番 PQLV206JPY) (コード長約3 m) 入力：　AC 100 V、50/60 Hz 出力：　DC 9 V、750 mA 消費電力：　最大　約1.9 W （カメラ本体接続時） ■ BL-C20 専用ACアダプター　(品番PQLV206JPY) (コード長約3 m) 入力：　AC 100 V、50/60 Hz 出力：　DC 9 V、750 mA 消費電力：　最大　約4.6 W （カメラ本体接続時）
温度	＋5 ℃～＋40 ℃
湿度	20 %～80 %（ただし、結露なきこと）

つづく

仕様

（BL-C20のみ）無線LAN仕様

項　目	仕　様
通信モード (通信規格)	IEEE 802.11b、802.11b/g、802.11g専用
伝送モード	IEEE 802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS方式) IEEE 802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM方式)
周波数範囲	2,412～2,472 MHz
チャンネル	1～13 CH
セキュリティ	WEP (64/128/152 bit)、SSID

さくいん

英　字

あ

か

さ

た

つづく

さくいん

な

は

ま

や

ら

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

■ 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検 **長年ご使用のホームネットワークカメラの点検を!**

こんな症状はありませんか？

- ACアダプターのコードが傷んでいる。
- こげくさい臭いや異常な音がする。
- 内部に水や異物が入った。
- その他の異常や故障がある。

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず**販売店に点検を**依頼してください。

松下電器産業株式会社
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ホームネットワークカンパニー

〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PQQX14949ZB KK1105JT1125